

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進
基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全26件)	0	1	5	4	16

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目 安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
1	1-1-①	指定管理施設での幼児や小学生を対象としたスポーツ教室の開催	幼児や小学生を対象としたスポーツ教室を開催し、子どもの体力向上やスポーツに親しむきっかけを作る。	年13教室以上開催	年29教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年33教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。利用者ニーズのある事業を行うことにより、幼児や小学生のスポーツ実施率の向上に寄与する結果となった。	参加率が低い教室があるという課題に対して、利用者のニーズに合わせた教室開催の検討や、広報活動に力を入れることにより実施していく。	【実施目標】 年1,226回以上教室開催 【設定理由】 指定管理更新を機に、行政として実施すべきスポーツ教室の内容や回数を見直し、目標の設定も変更した。最低限必要な教室を実施し、運動機会の確保等につなげるため。	スポーツ振興課	
2	1-1-①	走り方教室の開催	「放課後子ども教室」の中で児童が正しい走り方を学べる教室を開催し、身体を動かす楽しさを伝えとともに、スポーツに親しむきっかけを作る。	年18回以上開催	各区の小学校において計17回開催	4	計画通り実施できた。放課後子ども教室の担当から、翌年も再度開催を希望する声が多い。	静岡市スポーツ協会の協力を得ながら、実施方法を検討していく。	各区の小学校において計32回開催	5	「運動遊び教室」について、想定を上回る実施となり、目標を達成した。子供たちの運動へ親しむきっかけづくりや運動に対する意欲向上につながった。	NO.27に統合するため、廃止する。	令和8年度以降廃止 (NO.27に統合)	スポーツ振興課	2-2-③
3	1-1-①	小学生向け運動遊びリーフレットの配付	子どもたちが自ら進んで遊びやスポーツに親めるよう、楽しく体を動かす運動を紹介するリーフレットを配布する。	市内小学4年生へのリーフレット配布	市立小学校83校 4,997名 国立小学校1校 91名 私立小学校3校 172名 合計87校 5,150名にリーフレットを配付	5	計画通り実施できた。	令和6年度 廃止						スポーツ振興課	
4	1-1-①	静岡市立中学校における部活動改革の推進	部活動における課題を解消し、中学生がスポーツや文化芸術に触れる新たな活動の場と機会を確保し、人間力の向上と生涯にわたるスポーツや文化芸術に親しむための入口としての役割を担う活動とする。	市立中学校全43校にて実施	・R8夏の休日の「シズカツ」を想定し、前年度から続けて、市内4つの部活動において、実証事業を実施。 ・平日実施を想定した地域クラブを行うため、部活動が勤務時間内で終了する11月～2月に実証事業を実施。	3	平日は部活動のままで、休日から地域クラブ活動を実施する方法では、実施主体が異なることで責任の所在が不明確になるなどの課題が明らかになったため、部活動から地域クラブへの転換を、平日と休日の活動を同時期に行うこととした。(R9.8月末部活動終了 R9.9月しずおか地域クラブ活動開始)	これまでとは異なる新たな地域スポーツ・文化芸術活動の環境を構築していく必要があるため、教育委員会のみで取組を進めるのではなく、市長部局を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、庁内一体となって、取組を進めていくこととなった。	・総合政策局企画課総合教育係を中心とプロジェクトチームを立ち上げ、R9の9月からの「しずおか地域クラブ活動(仮)」の開始に向けた取組を教育局各課と共に進めた。 ・児童や保護者からの意見をクラブ運営等に反映するために、R8の11月～2月に中学校を会場にして、小学5、6年生を対象に、実際の地域クラブ活動を想定した体験会を実施。	3	年度末の3月には「しずおか地域クラブ活動」の運営方針が示され、学校部活動がR9.8月末をもって終了すること、「しずおか地域クラブ活動」のR9.4月からの一部先行実施、R9.9月からの完全実施が市民に示された。これにより、市民が部活動の地域展開について、まずは全体像へのイメージを持つことができた。	・学校部活動が終了することについて、関係する児童、生徒やその保護者、学校の教職員等に全体像やスケジュール等の情報提供が必要である。 ・「しずおか地域クラブ活動」への準備期間として、制度構築や団体募集、学校施設や備品の現状確認等を進めると共に市民への情報提供が必要である。	【実施目標】 ・部活動終了に向けた小・中学校への通知の発出 ・月1回程度の情報紙の配付 【設定理由】 ・部活動の終了と地域クラブの開始における情報提供を、市民や学校に定期的に行い、具体的なイメージを持てるようにするため。 ・中学校の部活動の終了後、生徒が円滑に地域クラブ活動に移行できるようにするため。	学校教育課	2-2-①
5	1-1-①	体力向上支援事業	各学校で行われている体力向上のための取組みに、大学教授やスポーツインストラクター等の専門家を派遣して支援する。	・支援回数 年間15回以上 ・支援校からの実績報告の周知及び授業改善への活用	小学校2校における支援事業の実施	2	専門家による実技指導・講義等の支援により、器械運動系(マット運動・鉄棒運動)の系統性を押さえ、体育授業の基本構造を学ぶ研修が行われた。	支援によって得られた知見をより多くの教員に広めるため、市内各校に向けて、体育の授業づくりに関する研修等での周知する。	学校に、延べ3回支援事業の実施	3	教育センターやスポーツ振興課が授業支援を行った。その結果、子どもたちの運動に対する意欲の向上につながった。	教育センター・スポーツ振興課が教員への指導や子どもへの授業支援を行う。	【実施目標】 年3回開催 参加者数100人(延) 【設定理由】 ・開催数は、事務事業の見直しにより3回とした。 ・児童生徒がスポーツに親しむきっかけを得たり、技術の向上を実感することで、スポーツを継続的に実施し、健康増進につながる。	学校教育課 教育センター	2-2-①
6	1-1-①	「体力アップコンテストしずおか」への参加促進	市内の小学校を対象にし、県教育委員会が主催する「体力アップコンテストしずおか」への参加を促進する。	参加率50%	参加校13校／86校 参加率15.1%	2	朝の時間や休み時間に運動を行う時間が確保できなくなったり、暑さにより運動する期間が短くなったりしているためか、参加する学校が減ってきている。	学級単位での参加だけでなく、クラブ活動や任意のグループでも参加できることを周知していく。	参加校7校／81校 参加率8.6%	2	体育の授業以外(朝の時間・休み時間・放課後)に運動を行う時間が確保できなくなったり、近年の猛暑や感染症の流行等の理由により運動が制限されたりしているためか、参加する学校が年々減少してきている。	【掲載見送り理由】 静岡県健康体育課が行っている事業のため、学校からの声を直接反映させたり、浮かび上がった課題を改善させたりすることが難しい。また、静岡市としての取組が、「周知する」ことのみになりがちであるため、次年度の掲載を見送りたい。	令和8年度以降廃止	教育センター	2-2-③

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進
基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全26件)	0	1	5	4	16

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度	担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由		
7	1-1-①	新体力テストの実施	小学3年生から中学3年生を対象に新体力テストを実施する。	体力・運動能力の向上に向けた調査結果の活用	調査結果と指導の重点をまとめた「授業づくりのポイント」と「体力向上における成果と課題」を作成し、各校に周知した。	4	学校訪問で参観した授業の多くは、ポイントを押さえた授業が行われている。	・調査結果を日常の体育的活動に生かしていくことが難しい。 ・各校の好事例を紹介し、よりよい取組を広げていく。	実施校 小学校 75校 中学校 36校 小中学校 6校	3	静岡市内の全小・中学校が実施することができた。体力調査の結果は、概ね昨年度と同等の結果であった。	【課題】 天候等の影響により、実施期間内に計画的かつ安全な環境で実施することが難しくなっている。 【取組内容】 ・実施計画に余裕をもたせ、安全な環境で効率よく正確な調査ができるよう周知する。 ・調査結果や日常の体育的活動や授業の中で生かせるような取組に関する情報提供を行う。	【実施目標】 実施校 小学校 72校 中学校 36校 小中学校 6校 【設定理由】 ・学校統廃合により、R8の全小・中学校数を設定した。 ・体力向上に関する情報や効果的な取組に関する情報を共有をすることで、家庭・地域・各団体等との連携が促進される。	教育センター	2-2-③
8	1-1-②	指定管理施設での働く世代や女性を対象としたスポーツ教室の開催	スポーツ実施率の低い働く世代や女性を対象としたスポーツ教室を開催し、スポーツ実施率の底上げに繋げる。	年4教室以上開催	年12教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年8教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。利用者ニーズのある事業を行うことにより、働く世代や女性のスポーツ実施率の向上に寄与する結果となった。	利用者のニーズに合わせた教室について検討した結果、廃止とした。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	
9	1-1-②	勤労者福祉センターにおけるフィットネス講座の充実	勤労者福祉センター(ラベック静岡、清水テルサ、来・て・こ)にて、フィットネス講座等を開催し、働く世代の健康の増進を図る。	フィットネス講座開催実績 北部:年100講座以上 南部:年30講座以上 東部:年1,000時間以上	北部:182講座 南部:30講座 東部:1,790時間 (時間単位)	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	運営指針の検討中であるが、指針決定までは引き続き勤労者の健康の増進及び余暇利用の充実を図る。	北部:184講座 南部:30講座 東部:1,790時間 (時間単位)	5	各館、利用者のニーズに応えた多様な講座を実施した。夜間の講座など、勤労者が受講しやすいような工夫も見られた。	運営指針の検討中であるが、指針決定までは引き続き勤労者の健康の増進及び余暇利用の充実を図る。	【実施目標】 フィットネス講座開催実績 北部:年100講座以上 南部:年30講座以上 東部:年1,000時間以上 【設定理由】 ・働く世代を中心とした市民が継続的にスポーツ・運動に参加し、健康の維持・増進を図るため。	商業労政課	
10	1-1-③	指定管理施設での高齢者を対象としたスポーツ教室の開催	高齢者を対象としたスポーツ教室を開催することで、高齢者の体力づくりや健康増進を図る。	年5教室以上開催	年13教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年17教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。利用者ニーズのある事業を行うことにより、高齢者のスポーツ実施率の向上に寄与する結果となった。	利用者のニーズに合わせた教室について検討した結果、廃止とした。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	
11	1-1-③	全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)への選手団派遣	高齢者等の生きがいと健康づくりを推進するため、「ねんりんピック」に出場する選手団を派遣する。	静岡市選手団派遣の実施(年1回)	・全国健康福祉祭鳥取大会に代表選手団を派遣 ・派遣人数135人	5	計画通り実施できた。	多くの高齢者から予選会への参加を募り、予選会を活性化させるため、予選会を開催する競技団体へ大会周知を促すとともに当該としても広報紙などで情報発信をしていきたい。	・全国健康福祉祭岐阜大会に代表選手団を派遣 ・派遣人数131人	5	計画どおり実施できた。また、出場選手からは、競技に参加でただけでなく、他県の選手や地元住民との交流を深めることができ、改めて生きがいや健康づくりについて意識することができたとの声が聞かれた。	多くの高齢者から予選会への参加を募り、予選会を活性化させるため、予選会を開催する競技団体へ大会周知を促すとともに当該としても広報紙などで情報発信をしていきたい。	【実施目標】 静岡市選手団派遣の実施(年1回) 派遣人数134人 【設定理由】 ・過去3か年の派遣人数の平均 ・多くの高齢者が参加することで、健康づくりへの意欲をより高めることができるため。	高齢者福祉課	
12	1-1-③	しぞ〜かでん伝体操活動グループ支援事業	静岡市版介護予防体操「しぞ〜かでん伝体操」「しぞ〜かちゃきちゃき体操」を周知し、住民主体で取組む活動拠点の立上げを支援する。また、活動が継続的に取組めるよう体操指導や体力測定等を実施する。	拠点数の設置(目標総数R12年度までに210箇所)	活動拠点数 7箇所増加 1箇所減少 延拠点数 182箇所	4	自主活動グループが少なかった駿河区の圏域に新規の立上げが相次ぎ、新たな参加者の増加に至った。	新規活動拠点の設置に向け、自治会や関係施設への周知等、当該からアプローチをしていきたい。	活動拠点数 7箇所増加 (新規7グループ) 延拠点数 189箇所 (230グループ)	4	活動グループ数が少ない地域で体操教室や関係機関との連携を図り情報提供を行うことで7グループの新規立上げにつながった。	活動グループの少ない圏域について引き続き自治会や関係施設と協議し、新たなグループの設置に向けたアプローチを行う。	【実施目標】 しぞ〜かでん伝体操に自主的に取り組む活動グループ数を220グループ維持する。 【設定理由】 市民がいつでも身近な会場で介護予防に参加できる機会を整えるため。	地域リハビリテーション推進センター	1-2-③

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進
基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全26件)	0	1	5	4	16

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度	担当課	関連
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由		
13	1-1-④	指定管理施設での障がいのあ る人も参加できるスポーツ教 室の開催	障がいのある人でも参加できるスポーツ教室を 開し、障がいのある人のスポーツをする機会を創 出する。	年2教室以上開催	年5教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。	利用者のニーズに合わせた教 室開催を検討しながら、継続し て実施していく。	年4教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。利用者ニーズのあ る事業を行うことにより、障が いのある人のスポーツ実施率の 向上に寄与する結果となっ た。	参加率が低い教室があるとい う課題に対して、利用者のニー ズに合わせた教室開催の検討 や、広報活動に力を入れるこ とにより実施していく。	【実施目標】 年147回以上教室開催 【設定理由】 指定管理更新を機に、行政と して実施すべきスポーツ教室 の内容や回数を見直し、目標 の設定も変更した。最低限必 要な教室を実施し、運動機会 の確保等につなげるため。	スポーツ振興課	
14	1-1-④	パラバドミントン サポートシティ推進事業	障がいの有無にかかわらず市民の誰もが気軽に スポーツに親しむことができる機会の創出と、共 生社会の理解促進を図る。	年5回以上実施	パラバドミントンスクールキャ ラバン 5校で実施 実施校:新通小、足久保小、賤 機南小、久能小、三保第二小	5	計画通り実施できた。	計画通り実施できたが、児童 の障がいスポーツへの理解をよ り一層深めるために、実施回数 を増やす、実施方法を見直すな どが必要。令和7年度は、 Japanパラバドミントン国際大 会開催事業と連携し、実施校数 及び回数を一校につき4回に 増やす。	パラバドミントンスクールキャ ラバン 9校で実施 実施校:川原小、玉川小、東源 台小、長田北小、賤機中小、蒲 原東小、足久保小、西豊田小、 清水辻小 回数:各校につき4回(川原小 は6年生のため、福祉の導入・ 振り返り授業を実施しなかった ため2回)	5	パラバドミントンスクールキャ ラバン 9校で実施 実施校:川原小、玉川小、東源 台小、長田北小、賤機中小、蒲 原東小、足久保小、西豊田小、 清水辻小 回数:各校につき4回(川原小 は6年生のため、福祉の導入・ 振り返り授業を実施しなかった ため2回)	想定を上回る実施となり、目標 を達成した。実施回数が増加し たことにより、より多くの児童 の障がいスポーツへの理解促 進につながる結果となった。	【実施目標】 パラバドミントンスクール キャラバン10校で実施 【設定理由】 小学校でパラバドスクール機 やらバンを実施することで障 がいの有無にかかわらず市 民の誰もが気軽にスポーツ に親しむことができる機会の 創出し、共生社会の理解促進 を図るため。	スポーツ振興課	3-1-②
15	1-1-④	全国障害者スポーツ大会への 静岡市選手団の派遣	障がいのある人を「全国障害者スポーツ大会」に 派遣することで、社会参加を促進し、また障がい 等に対する市民の理解を深める。	年1回実施	全国障害者スポーツ大会 「SAGA2024」に静岡市選手 団30名を派遣した。	5	障がいのある人(身体・知的)を 「全国障害者スポーツ大会」に派 遣したり、県の大会である「わか ふじスポーツ大会」を開催したりす ることで、社会参加を促進し、また 市民の理解を深めた。	—	全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA輝く障スポ」に静岡市 選手団19名を派遣した。	5	障がいのある人(身体・知的)を 「全国障害者スポーツ大会」に派 遣したり、県の大会である「わか ふじスポーツ大会」を開催したりす ることで、社会参加を促進し、また 市民の理解を深めた。	申し込み方法が紙またはFAX であることから、委託先の静岡 県障害者スポーツ協会と連携 し、電子申請ができるように し、出場者数の増加に繋げる。	【実施目標】 年1回実施 【設定理由】 障がいのある方がスポーツ に親しむ機会を創出すること で、障がいのある方の社会参 加の促進に繋げるため。	スポーツ振興課	
16	1-1-④	障がい者スポーツ教室事業	日頃スポーツへの参加が難しい障がいのある人 のために、スポーツの経験が少ない人でも取組み やすい、ボッチャやフライングディスク等の体験教 室を開催する。	年15回開催 参加者数 600人	開催数 年15回実施 参加者数 388人	3	計画どおり、15回実施でき たが、会場により参加者のばらつ きがみられ、参加者数は目標値 の約6割にとどまった。	これまでの実施内容を分析し、 開催地等より集客を図れる開 催方法を検討していく。	開催数 年15回実施 参加者数 445人	4	計画どおり、15回実施でき たが、会場によって参加者数のば らつきがあり、また夏季、冬季 の参加者数が落ち込んだため、 目標を達成出来なかった。	これまでの実施内容を分析し、 開催地や開催時期等の集客を 図れる開催方法を検討してい く。	【実施目標】 年15回開催 参加者数 450人 【設定理由】 ・障がい者スポーツ教室の1 回の定員を30程度としてい るため、令和7年度の実績数 も含め達成可能な参加者数 を目標に設定した。 ・日頃スポーツへの参加が難 しい障がいのある人のため に、障がい者スポーツ教室を 開催することで、健康を維持 するとともに、障がい者のあ る人の自立と社会参加の促 進につながるため。	障害福祉企画課	2-1-②
17	1-1-④	障害者スポーツ フェスティバル事業	清水区内で3障がいを対象としたスポーツ大会を 障害者スポーツフェスティバル実行委員会が開催 する。	年1回開催 参加者数 1,000人	年1回開催 参加者数 636人	3	午前4種目、午後1種目実施し たことにより参加者は、前年度 より増加した。 ただし、開催直前にコロナ感染 者が出た1事業所が不参加とな り、予定より人数は減少した。	開催時間を午後まで延ばした が、近年では5月でも気温上昇 が著しく熱中症の症状が出た 参加者もいた。体育館での開催 や開催時間の見直しについて、 実行委員会で諮っていく。 ※5月開催は実行委員会構成 団体の希望により固定	年1回開催 参加者数 542人	3	今年度、実際に体育館での開催 を経験し、各事業所でも、体育 館での開催メリットが実感でき たことと、密集度、空調の状態 についての懸念が払しょくされ た。体育館での開催への変更 には、徒競走に代わる種目又は 「交流の場」の追加が求められ る。	障がい者のスポーツ参加や普 及については、「ユニバーサル スポーツの聖地化プロジェク ト」の一環として、事業の目的 を踏まえた内容の検討の時期 にきている。	【実施目標】 年1回開催 参加者数 542人 【設定理由】 年々参加者は減少している が、昨年度同程度の参加規 模を見込み、体育館開催する ことにより、体調に配慮した 交流の機会を創出するため。	障害福祉企画課	2-1-②

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進
基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全26件)	0	1	5	4	16

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目 安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
18	1-1-④	身体障害者 スポーツ大会事業	葵・駿河区内で身体に障がいのある人を対象としたスポーツ大会を行政と静岡市身体障害者団体連合会が開催する。	年1回開催 参加選手数 160人	年1回(午前中のみ開催) 参加選手数 71人	3	参加者の高齢化が進んでいる。今回は第60回大会で前年に比べ参加者が増加したが、過去から比べると減少している。	アンケートをとりながら、共催団体と参加者の期待に沿えるような大会を目指していく。	年1回(午前中のみ開催) 参加選手数 50人	3	会場の都合により、開催時期が例年よりも早くなり参加者が例年よりも減少。	参加者が高齢化している。また、参加者も固定化しつつある状況。大会のあり方も含め参加者アンケートをもとに共催団体と今後の運営について検討していく。	【実施目標】 年1回(午前中のみ開催) 参加選手数 60人 【設定理由】 ・参加者の高齢化が進み、参加者数が年々減少していることから、現実的な数値目標とした。 ・参加選手が減少している現状や、他の類似事業の状況を踏まえ、今後の事業の見直しについて、関係各課、共催団体と協議を進める。	障害福祉企画課	2-1-②
19	1-1-④	精神障がい者スポーツ交流強化事業	スポーツを通じて、精神に障がいのある人の社会参加を促進する。	年5回開催	0回	1	令和5年度に引き続き、委託先がなく実施が困難であった。	受託先等の検討を含め、実施できる体制整備を行っていきたい。	(廃止理由) 事務移管による廃止					精神保健福祉課	
20	1-1-⑤	チャレンジなわとびの開催	自身の体力や能力、年齢に応じて4部門あるテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催する。	年5回以上開催 延べ参加者数 700人以上	年5回開催 参加者延べ 823人	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	参加者を増加させるため、葵・駿河区でのなわとびの普及等、実施方法や受験票の見直しを検討していく	年5回開催 参加者延べ 513人	4	LINEやSNSでの周知、チラシの配布時期に余裕がなかったなど広報力が足らず過去2年に比べ大きく参加者が減少した。しかし、本事業を通じて、普段運動をしていない市民がスポーツに親しむきっかけを得た。	参加者を増加させるため、葵・駿河区でのなわとびの普及、事業の周知方法等を工夫していく必要があるため、紙媒体だけでなく電子媒体を用いた周知の仕方を進める。	【実施目標】 年4回開催 参加者数508人(延) (直近2年の一回あたりの平均値×令和8年度実施予定回数) 【設定理由】自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催することで、市民がスポーツに触れる機会が創出されるため。	スポーツ振興課	
21	1-1-⑤	体力テスト会の開催	自身の体力・運動能力の現状を把握するための体力テストを実施し、健康・体力づくりに役立ててもらうような機会を提供する。	年1回開催	1回開催 参加者数112人	5	20～64歳が 78人、65～79歳が 34人参加した。前年度参加者への案内、公共施設へのチラシ配架、スポーツ協会ホームページ、市LINEにより広報を行った。電話申込に加えてインターネット申込も行い、146人の申込があった。国、県が指定する調査人数156人を達成できるよう、開催方法を見直していく。	参加者の呼びかけや自分の体力への関心を高める広報活動をし、参加者を増加させることが必要。また、幼児用スペースの確保など、より参加しやすい事業にするための運営を検討していきたい。	1回開催 参加者数116名	5	20～64歳が 82人、65～79歳が 34人参加した。前年度参加者への案内、公共施設へのチラシ配架、スポーツ協会ホームページ、市LINEにより広報を行った。電話申込に加えてインターネット申込も行った。国、県が指定する調査人数156人を達成できるよう、開催方法を見直していく。	参加者の呼びかけや自分の体力への関心を高める広報活動をし、参加者を増加させることが必要。また、体力テストの実施の合間に体験できる、血管年齢診断、ロコモ度測定などのスペースを、大学・企業との協力で設け、より参加者が増えるための運営を検討していきたい。	【実施目標】 年1回開催 【設定理由】 自身の体力・運動能力の現状を把握するための体力テストを実施することで、健康・体力づくりに役立ててもらう機会を提供するため。	スポーツ振興課	
22	1-1-⑤	クライミング教室の開催	清水駅東口クライミング場の利用促進を図るため、当該施設の利用登録証を取得できる教室を開催する。	年1回開催	年1回(2期)開催 延べ参加者数 100人 1期目:45人 2期目:55人	5	計画通り実施できた。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年1回(2期)開催 延べ参加者数 141人 1期目:61人 2期目:80人	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。利用者ニーズのある事業を行うことにより、市民のスポーツ実施率の向上に寄与する結果となった。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	【実施目標】 年1回(2期)開催 【設定理由】 教室を開催することで、スポーツに親しむ機会を創出することができるため。	スポーツ振興課	
23	1-1-⑤	「Sport in Lifeプロジェクト」による「する」スポーツの推進	WEBなどを活用し、生活の中で無理なく行える身体活動(徒歩、自転車利用等)の推奨や自宅等で簡単にできる軽運動メニューの紹介等を行い、日常生活にスポーツを取り入れる「Sport in Lifeプロジェクト」を推進する。	継続実施	運動・スポーツ習慣化促進事業の中で、「スポーツ・イン・ライフ実践プログラム」の動画を5本作成した。	5	計画通り実施できた。	作成した動画を広く市民に周知していく。	令和6年度に作成した「自宅でできるエクササイズ動画」に加え、令和7年度はホームタウンチームのマスコットや選手が出演する「就業時間内にできるエクササイズ動画」を新たに制作し、市民及び市内企業等への周知を実施した。	5	令和6年度の自宅向け動画に加え、令和7年度は職場で手軽に実践できる運動コンテンツを整備したことで、市民がライフスタイルに応じて運動・スポーツに取り組める環境づくりが進んだ。	コンテンツの認知度向上及び活用促進が課題であるため、スポーツ振興課主催イベントをはじめ、他課や民間団体が実施するイベント、ホームタウンチームのホームゲーム等、様々な機会を活用して周知を強化していく。	【実施目標】 継続実施 【設定理由】 市民が時間や場所の制約を受けずにスポーツや運動に親しむ機会を創出することで、運動習慣の定着を促すことができるため。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:1 ライフスタイルに応じたスポーツの推進
基本施策:①子どものスポーツ活動の推進 ②働く世代と女性のスポーツ活動の推進 ③高齢者のスポーツ活動の推進 ④障がい者のスポーツ活動の推進 ⑤多様な世代で楽しむスポーツ活動の推進

施策1の柱 1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全26件)	0	1	5	4	16

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
24	1-1-⑤	指定管理施設での誰でも参加 できる健康増進教室の開催	参加対象を限定せず、誰でも気軽に参加できる健康増進教室を開催し、市民のスポーツに対するハードルを下げるとともに、スポーツ実施率向上を図る。	年47教室以上開催	年55教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。	利用者のニーズに合わせた教室開催を検討しながら、継続して実施していく。	年60教室開催	5	想定を上回る実施となり、目標を達成した。利用者ニーズのある事業を行うことにより、市民のスポーツ実施率の向上に寄与する結果となった。	参加率が低い教室があるという課題に対して、利用者のニーズに合わせた教室開催の検討や、広報活動に力を入れることにより実施していく。	【実施目標】 年448回以上教室開催 【設定理由】 指定管理更新を機に、行政として実施すべきスポーツ教室の内容や回数を見直し、目標の設定も変更した。最低限必要な教室を実施し、運動機会の確保等につなげるため。	スポーツ振興課	
25	1-1-⑤	生涯学習施設でのスポーツに関する講座の開催	生涯学習施設でスポーツに関する講座を開催する。	無人館を除く37施設中34施設で開催	無人館を除く37施設中36施設で開催した。	5	目標値を上回る、多くの施設で、各種多様なスポーツに関する講座を開催した。	—	無人館を除く37施設中35施設で開催した。	5	目標値を上回る、多くの施設で、多様なスポーツに触れる機会を提供することで、市民の健康増進を図るとともに、スポーツを通じた人と地域のつながりを育み、活力あるまちづくりに寄与した。	本事業については、生涯学習施設で実施している指定管理事業の講座のうち、講座分類が健康や趣味・教養等に該当するものの中で、スポーツに関わる事業を集約したものである。講座ごとの事業計画や指標は指定管理者の創意工夫によるところであり、定量的な成果指標の設定は難しいため、成果志向型への転換にあたり、搭載事業の変更を検討中。	検討中のため目標設定なし	生涯学習推進課	
26	1-2-⑤	東静岡アート&スポーツ／ヒコバの運営	若者から特に人気の高いローラースポーツのすそ野を広げるため、初心者や未経験者が楽しむことのできるイベント等を開催する。	イベントの開催	・スケートボード、BMX、インラインスケートの3ジャンルで毎週初心者向けスクールを開催 ・インラインスケートにおける学外活動の受け皿としての部活動事業の実施 ・その他スケートボード、BMXの全国大会を開催	4	3ジャンルの初心者向けスクールを継続して実施したため、初心者、未経験者のすそ野拡大に寄与した。	R7.9月の閉鎖までの間は今後も継続して各種スクールを開催するとともに、無料体験会や見ることから始めるきっかけをつくる全国大会誘致などさらなるすそ野拡大に向けて取り組んでいく。	・スケートボード、BMX、インラインスケートの3ジャンルで毎週初心者向けスクールを開催 ・インラインスケートにおける学外活動の受け皿としての部活動事業の実施 ・その他スケートボード、BMXの全国大会を開催	4	3ジャンルの初心者向けスクールを継続して実施したため、初心者、未経験者のすそ野拡大に寄与した。	施設閉鎖(R7.9月)に伴い廃止。	令和8年度以降廃止	企画課	2-1-①
27	1-1-⑤	スポーツインストラクターの派遣	市の機関等からの依頼により、地域施設等でのスポーツ教室へインストラクターを派遣することで、体を動かす楽しさを伝える。	派遣先5か所以上	・16か所 (実施回数は計163回) ・放課後子ども教室では18校にインストラクターを派遣	5	・事業所間の紹介等により、新規の依頼もあり、派遣先数、実施回数ともに増加した。 ・満足度も高く、事業の目的を達成した。	—	・17か所 (実施回数は157回) ・放課後子ども教室では32校にインストラクターを派遣	5	昨年度に引き続いて依頼をいただいた事業所が大半であったことから、指導に対し一定の評価をいただけていると分析している。(継続的な指導者の派遣については、施設に足を運ぶことができない方へのスポーツ機会の提供に繋がっており、スポーツをすることと得られる健康増進や生き甲斐創出といった効果が一定数あったと考えている)	継続的な依頼に対応できるよう、派遣先のニーズを把握するとともに、インストラクターの確保及び指導内容の充実を図る。	【実施目標】 派遣先5か所以上 【設定理由】 施設に来館、来場が難しい方にもスポーツに親しむ環境、機会を提供し、健康増進に繋げるため。	静岡市スポーツ協会	
	1-1-⑤	葵区及び駿河区地域スポーツ振興事業補助金	スポーツ振興事業を行っている学区に補助金を交付することで、地域スポーツ事業の振興に繋げる。	補助金交付件数 40件	43件	5	各学区に周知をし、目標件数を達成することができた。	申請者が提出しやすいように、電子申請システムの使用を検討する。	補助金交付決定件数 43件	5	実績値が目標値を上回り、各学区・地区における地域スポーツ振興の支援を行うことができた。	申請の負担から申請を行わない学区等いるため、申請手順の簡略化を図る。	【実施目標】 補助金交付件数 45件 【設定理由】 本事業は、スポーツ振興事業に取り組む学区・地区を増加させることが目的であるため、補助金の交付件数を目標として設定している。 また、これまでの目標が対象となる56学区・地区の約70%であったため、約80%である45件を目標値とした。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携
基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

施策1の柱 2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	1	0	0	2	9

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
28	1-2-①	区民体育大会の開催	各区において、学区・地区対抗のニュースポーツ大会や運動会を開催し、スポーツ振興や地域コミュニティの活性化を図る。	延べ参加者数 9,900人以上 ・葵区 4,500人以上 ・駿河区 2,000人以上 ・清水区 3,400人以上	延べ参加者数 ・葵区 2,78人 ・駿河区 1,940人 ・清水区 1,304人 合計 3,522人	3	葵区の大運動会は雨天中止のため、参加者数が目標値を大幅に下回った。	市民の需要に合った大会開催の方法を検討していく。	延べ参加者数 ・葵区 1,769人 ・駿河区 1,046人 ・清水区 0人 合計 2,815人	1	葵区のスカイクロス大会、清水区民大会は雨天中止、駿河区のニュースポーツ大会を2種類から1種類に変更したため、目標値を大幅に下回ったが、区民が一堂に会する大会を開催したことで、学区・地区内及び近隣地区の交流が活性化され、地域コミュニティの形成につながった。	年1回の実施では、スポーツ実施率の向上につながりにくく、参加者の取りまとめを行う自治会への負担が大きいことから、令和8年度以降、市主催事業として実施してきた葵区及び駿河区民スポーツ大会を廃止する。静岡市清水区連合体育会主催事業である清水区民体育大会は継続する。	【実施目標】 延べ参加者数 清水区 1,000人以上 【設定理由】 区民体育大会への参加を通じて、市民の健康増進及び地域コミュニティの活性化を図り、スポーツを通じた豊かな市民生活の形成に寄与するため。	スポーツ振興課	2-1-②
29	1-2-①	スポーツ推進委員と協働でのニュースポーツ体験会の開催	だれもが気軽に参加できるニュースポーツの体験会を開催する。	・チャレンジスポーツラリー年1回開催 ・チャレンジスポーツDAY各区1回以上開催	①チャレンジスポーツラリー参加者数 420人 ②チャレンジスポーツDAY 葵区 123人 駿河区 114人 清水区 136人 合計 793人	5	計画通り実施できた。	チラシ配架の方法を工夫したり、LINEやHP等で配信したり、参加者を増やす為の工夫をする。	①チャレンジスポーツラリー年1回開催 参加者数 339人 ②チャレンジスポーツDAY 葵区 97人(1回開催) 駿河区 143人(1回開催) 清水区 69人(2回開催) 合計 309人	5	目標どおり事業を実施し、誰もが気軽にスポーツを体験できる機会の創出につながった。	広報の仕方や、競技種目、実施時期などを見直していく。	【実施目標】 ・チャレンジスポーツラリー参加者満足度 90% ・チャレンジスポーツDAY参加者満足度 90% 【設定理由】 本事業は、市民がスポーツや交流を通じて楽しさや達成感を感じ、継続的な参加につながることを目的としている。そのため、実施回数や参加者数のみでは把握できない参加者の受け止めや事業効果を測定する指標として満足度を設定する。	スポーツ振興課	1-1-⑤
30	1-2-①	スポーツ推進委員によるコーディネーター活動に対する支援	スポーツ推進委員主催による大会や地域スポーツ振興に係る事業実施の連絡調整を支援する。	スポーツ大会やイベントへの参加者数 1,000人以上	チャレンジなわとび 823人 市民交流ディスコン大会 104人 葵区ファミバド・ディスコン大会 200人 駿河区ファミバド交流大会 82人 駿河区ディスコン・ラダゲッター大会 68人 清水区ビーチボール大会 75人 清水区キンボール大会 42人 合計 1,394人	5	計画通り実施できた。	スポーツ推進委員の指導技術向上を図り、継続し手実施していく。	チャレンジなわとび 513人 市民交流ディスコン大会 74人 葵区ディスコン大会 104人 駿河区ファミバド交流大会 85人 駿河区ディスコン・ポッチャ大会 87人 清水区ビーチボール大会 69人 合計 932人	4	目標値には達しなかったが、さまざまなニュースポーツの大会実施により、市民が多様なスポーツを実施する機会が創出された。	周知方法を多様化することにより、多様な市民の参加を促す。	【実施目標】 スポーツ大会やイベントへの参加者数 1,000人以上 【設定理由】 参加者の増加を図ることで、市民のスポーツ実施機会の創出や、スポーツが盛んなまちだと思いう市民の割合増加につながるため、参加者数を目標値に設定した。 また、参加者数は令和7年度の約110%を目標値として設定した。	スポーツ振興課	2-1-②
31	1-2-②	総合型地域スポーツクラブの活動支援	クラブの紹介チラシ及びホームページを作成し、活動内容を周知する。また、クラブの指導者によるスポーツ教室の開催や指導者の派遣を行う。	・合同イベント年1回開催 ・スポーツ教室年5回以上開催	年8回開催 参加者数 596人	5	計画通り実施できた。 教室によって参加人数に偏りがでてしまったため、教室の内容、開催場所や実施回数等を検討していく。	クラブの指導力向上、育成のため、スポーツ教室の開催を支援していく。	年5回開催 参加者数453人	5	一部教室(コアトレーニング教室)の未開催により目標は達成できなかったが、活動内容周知等をし、市民がスポーツをする機会の提供をした。	クラブの指導力向上、育成のため、スポーツ教室の広報活動を支援していく。	【実施目標】 広報活動を3件行う。 【設定理由】 市民が運動するきっかけを得ることで、健康増進につなげるため。	スポーツ振興課	2-1-②
32	1-2-②	民間事業者と連携したスポーツイベントの実施	民間事業者と連携して各種スポーツイベントを開催するとともに、民間事業者による公共施設を活用したスポーツの推進に係る事業の実施を促進する。	随時開催	民間事業者と連携したスポーツイベント1回開催	4	SPOPIAシラトリと「金哲彦ランニングクリニック」を令和6年11月27日(日)実施	イベント数を増やし、より多くの市民が参画できることを目指していく。	SPOPIAシラトリと「金哲彦ランニングクリニック」の開催 日経金蒲原製造所で行われた第37回「日経祭」でのモックル体験ブース出展 ハヤチベンチャーズ静岡、三井住友海上火災保険株式会社と共同で実施した防災×ユニバーサルスポーツイベント	5	民間事業者の集客力やコミュニティを活かイベントを開催できた。 民間事業者等の持つ専門的な知見や発信力、ネットワークを活用することで、市民のスポーツ参加機会の拡大、健康増進、地域コミュニティの活性化及び地域経済の活性化を図るとともに、スポーツを通じた交流の促進ができた。	民間事業者との連携により多様なスポーツ機会を創出できる一方で、事業の継続性確保、事業効果の見える化などが課題である。今後は関係団体・企業との連携体制を強化し、市民の継続的な参加につながる仕組みづくりを進める。	【実施目標】 民間事業者と連携したスポーツイベント1回以上開催 【設定理由】 民間事業者の専門的な知見や発信力を活用し、市民のスポーツ参加機会の拡大、健康増進、地域交流の促進及び地域の賑わい創出につなげるため。	スポーツ振興課	2-1-②
33	1-2-②	職場における運動・スポーツの普及促進	企業の福利厚生事業等へアプローチを行い、職場内におけるスポーツの実施を促す。	継続実施	運動・スポーツ習慣化促進事業の中で、「スポーツ・イン・ライフ実践プログラム」の動画を5本作成した。	5	計画通り実施できた。	作成した動画を広く市民に周知していく。	・企業訪問16件 ・企業訪問での運動継続率72%	4	企業訪問をきっかけに継続して運動したいという声が多くあり、運動を「手軽に」「楽しく」「仲間と取り組める」形で提供したことが、参加者の意欲向上につながったものと考えられる。	本事業で構築した運動プログラム、健康測定、イベント、情報発信等の機能を継続的に提供することにより、民間主体による持続可能な健康づくりモデルとして地域に定着を支援していく。	【実施目標】 ・企業訪問16件 ・企業訪問での運動継続率80% 【設定理由】 市民が運動するきっかけを得ることで、健康増進につなげるため。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:1 誰もが楽しむことができるスポーツの推進
施策の柱:2 スポーツを通じた地域・他分野との連携
基本施策:①スポーツ推進委員との協働によるスポーツ活動の推進 ②地域や企業との連携・協働によるスポーツ活動の推進 ③他分野との連携によるスポーツ活動の推進

施策1の柱 2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	1	0	0	2	9

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
34	1-2-②	地域団体との 連携イベントの開催	地域団体と連携し、スポーツ以外の要素を取り入れたイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年5回以上開催	・年9回の開催 ・参加人数 2,329人	5	各事業ともに参加人数が増加しており、施設の認知度向上、利用促進にもつながっている。	地域とのコミュニケーションを継続を大切にし、地域で関わる人々を増やしていく。	・年6回開催 ・参加人数 1,023人	5	天候に左右される屋外イベントが多く、R7年度は雨天中止が4事業あり、参加人数が減少。 地域との連携を図り、多世代で楽しめる事業を実施できた。	本事業については、主に健康増進館ゆららおよび蛇塚スポーツグラウンドでの自主事業として実施していたが、R8年度より指定管理施設ではなくなることから、J-STEP、清水庵原球場で実施できる範囲とする	【実施目標】 年3回以上の開催 参加人数:200人 【設定理由】 施設および地域資源を活用することで施設及び地域の魅力を向上し、地域の活性化につなげるため。	静岡市 まちづくり公社	
35	1-2-②	総合型地域スポーツ クラブとの連携事業	スポーツ施設と総合型地域スポーツクラブと連携したイベントを開催する。	年2回以上開催	・年2回の開催 ・参加人数 397人	5	プロ野球でも使用する庵原球場、天然芝グラウンドの蛇塚スポーツグラウンドなど、普段あまり体験のできない環境でのプレー機会を創出することができた。	各団体とのコミュニケーションを図り、試合だけでなく、他県チーム交流機会の創出や保護者向け栄養講座なども検討していきたい。	・年2回開催 ・参加人数 246人	5	野球交流大会については、参加予定チーム都合(体調不良多数)により、規模を縮小して実施したが、今年度は試合開催だけでなく、キャッチボール要素を用いたアトラクションを行うなど、試合以外の楽しみを創出。 サッカーにおいては、日頃土のグラウンドでの練習・試合の多い中学生年代に天然芝グラウンドでプレーする機会を提供。	本事業は庵原球場及び蛇塚スポーツグラウンドにおける事業として実施していたが、R8年度より蛇塚スポーツグラウンドの指定管理者でなくなることから、清水庵原球場での実施のみとする。 J-STEPなどと連携した交流会開催や保護者向け運動・栄養講座などの企画も検討。 しずおか地域クラブ活動への協力も検討	【実施目標】 年1回以上開催 参加人数:80人 【設定理由】 管理施設の減少により、年1回以上とし、参加者数も見直す。 既存連携団体だけでなく、しずおか地域クラブ活動への協力としての取り組みも検討する。	静岡市 まちづくり公社	2-1-②
36	1-2-②	企業等との協同事業	企業等と協働したスポーツ教室を開催する。	年1回以上開催	・年4回の開催 ・参加人数 60人	5	・サッカー教室と科学的測定を掛け合わせることで、普段体験できないプログラムを提供できた。 ・ラグビー教室では、チームの普及活動にも貢献できた。	スポーツと他分野を融合させた協働事業を検討していく。 例:スポーツ×食 など	・年3回開催 ・参加人数 408人	5	企業、団体、学生、地元などとスポーツと防災を融合させたイベントを開催し、体を動かすだけでなく、防災意識の向上を図りました。	サッカー、野球等に限らず多種目の教室開催の検討。 庵原地区におけるユニバーサルスポーツの聖地化の推進として、パラスポーツ教室など誰でも参加できる教室開催を検討。	【実施目標】 年2回以上 【設定理由】 企業等とタイアップすることでより魅力的な事業を提供するため。	静岡市 まちづくり公社	1-1-⑤
37	1-2-③	元気静岡マイレージ事業	参加者が健康づくりの取組目標を設定し、目標達成によって貯めたポイントで県内の協力店で利用できる「ふじのくに健康いきいきカード」を取得したり、様々な賞品が当たる抽選にチャレンジできる。参加者が自ら健康づくりに取組むことを通じて、市民が運動習慣を身につけるきっかけを作る。	①参加者数900人 (令和6年度から) ②働き盛り世代(30～50歳代)の参加者の割合35%以上	①1,253人 ②42.9%	5	特に、働き盛り世代(30～50歳代)の参加促進に注力し、保険者、企業、団体等関係機関への周知を強化することで、連携した参加呼びかけを行った。	継続参加している個人や団体への支援を行いながら、企業や関係機関と連携した広報を強化し、新たな参加者拡大を図る。	①1,064人 ②45.4%	5	積極的な周知や、団体参加枠の新設により、①②いずれも目標値を上回った。 団体参加枠では、生活習慣の変化として「運動量が増えた」と回答した人の割合は52.0%であった。(複数回答)	働き盛り世代の参加者の確保が課題である。 団体参加枠を新設した。保険者・企業・団体等への周知を強化し、連携した参加呼びかけにより、職域を通じた参加促進を図る。	【実施目標】 ①参加者数940人 ②働き盛り世代(30～50歳代)の参加者の割合35%以上 【設定理由】 ①過年度実績から最終目標参加者数を1,000人とし、年度ごとの参加者数を設定した。 ②過年度実績から35%とした。 ・市民が運動するきっかけを提供し、運動習慣者の増加につなげるため。	健康づくり推進課	
38	1-2-③	自転車の利用促進	自転車に関連した参加型・体験型イベントを開催し、参加者の自転車利用を促進することで、市民が日常で気軽に運動を取り入れるきっかけを作る。	年1回開催	・年4回の開催 ・自転車関連イベント実施の補助金制度を設立し、民間主体のイベント実施へシフト	5	・民間主体のイベント実施を補助する仕組みを作ることで、市が主体で実施するよりも実施回数も多く、多様なイベントを実施できた。	・イベント実施の効果が見えずらい。 ・引き続き、民間の活力を取り入れ、民間主体のイベント(自転車利用促進施策)実施を推進していく。	年4回の開催	5	・目標数よりも多く、多様なイベントを実施できた。 ・自転車関連団体が連携してイベントを開催することにより、幅広い年齢層に対して、自転車愛護、交通安全などの周知啓発をおこなうことが出来た。	・民間が自転車関連イベントの企画に不慣れで、集客などに不安があり、申請に踏み切れない団体がいる。 ・イベント運営の専門企業がサポートすることにより、申請件数を増やしていく。	【実施目標】 ・年4回開催 【設定理由】 ・開催数は補助制度の設立以降の実績から設定した。 ・市民に価値や体験、学びの場を提供して自転車を活用いただくことにより、健康の増進やモラル・安全性の向上に寄与するため。	交通政策課	
39	1-2-③	スポーツ施設における 他分野のイベントの開催	スポーツ施設にてスポーツ以外の分野のイベントを開催することで、スポーツ施設の認知度向上や利用の促進を図る。	年8回以上開催	・年10回開催 ・参加人数 376人 新たなにプラモデル作り教室を開催。	5	静岡の産業との連携事業など、静岡市の魅力を再発見するとともに、施設の認知度向上、利用促進につながった。	施設未利用者へのアプローチとして、他分野との連携事業なども企画していく。	・年9回開催 ・参加人数 572人	5	家族参加できるイベントなど日頃施設を利用されない層の利用促進を図ることで、施設の認知度向上と新規利用者獲得につなげることができた	本事業は、健康増進館ゆらら及び蛇塚スポーツグラウンドを主に実施していたが、R8年度より指定管理者でなくなることから事業実施回数をJ-STEP、清水庵原球場で1回ずつとする	【実施目標】 年2回以上の開催 【設定理由】 日頃運動しない層に対してスポーツ以外のイベントを開催することで、施設を知っていただき運動意欲を持っていたくため。	静岡市 まちづくり公社	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり
基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

施策2の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全17件)	2	0	1	4	10

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度			
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連	
40	2-1-①	スポーツ施設改修事業	静岡市スポーツ施設配置適正化方針による個別施設計画に基づく改修を行い、施設の長寿命化を図る。	計画的な改修の実施	清水庵原球場改修等事業(内野スタンド防水修繕)を実施。	5	総合計画に登載された左記事業について、計画通り改修完了した。	優先度及び緊急度を考慮して要求内容を精査し、引き続き総合計画への登載を要求していく。	中規模改修工事3件及び来年度の改修工事に向けた設計業務1件を実施。 2件の中規模改修について施工内容の見直しと入札不調により、年度内に工事完了ができなかった。	4	総合計画に登載された左記事業のうち工事1件と設計については、計画通り完了し、市民が安全安心に施設を利用できる環境整備に寄与することができたものの、2件の工事は完了できず利用環境の改善に遅延が生じた。	優先度及び緊急度を考慮して要求内容を精査し、引き続き総合計画への登載を要求していく。 入札不調を想定した早期発注や事業スケジュールの前倒しなど、関係部局との協議・調整を行うことで計画どおりに事業を執行する。	【実施目標】 大規模改修工事1件、中規模改修工事1件、次年度以降の改修に向けた設計業務2件を実施。 【設定理由】 市民が安全に安心して施設を利用できる環境を整え、スポーツの普及や競技力の向上、利用者満足度の向上につなげるため。	スポーツ振興課		
41	2-1-①	学校等体育施設利用事業	学校ごとに、学校等体育施設利用運営協議会を置き、利用団体の登録や利用調整を行う。	延べ利用者数 210万人以上	利用者数 1,848,083人 (集計中 6/12現在)	4	目標人数は達成できなかったものの、目標人数の約95%の利用実績であったため。	市内小中学校において、統廃合が進んでおり、関係課や既存利用団体との調整が必要となる。	利用者数 1,783,823人	4	目標人数の約85%と目標人数には達成できなかったが、市民がスポーツ親しむことができる場を提供することができた。	市内小中学校において、統廃合が進んでいるため、引き続き関係課や既存利用団体との調整を密に行う。	【実施目標】 延べ利用者数 190万人以上 【設定理由】 ・2か年平均の5%増とした。 ・市民が日常的にスポーツに親しむ場があることで、健康増進につながるため。	スポーツ振興課		
42	2-1-①	グラウンド夜間照明の保守・点検	学校グラウンド夜間照明施設等の球切れ、照度、不具合などに対して、確実な点検及び適正な修繕を行う。	保守点検 年1回 修繕および不具合への対応は通年(随時実施)	保守点検 各施設1回実施 修繕 随時実施	5	計画とおり実施できた。	継続して実施していく。	保守点検 各施設1回実施 修繕 随時実施	5	計画どおり実施でき、市民が安全にグラウンドを使用することができた。	今後も継続して、学校や教育資産管理課と連携し、保守点検や修繕を行う。	【実施目標】 保守点検 年1回 修繕および不具合への対応は通年(随時実施) 【設定理由】 市民が施設を安全に使用できるようにするため。	スポーツ振興課		
43	2-1-①	アリーナの整備	交通利便性が高いJR東静岡駅北口市有地において、トップレベルのスポーツの観戦等ができるアリーナ整備を促進実施する。	アリーナの整備	・静岡市アリーナ基本計画を策定した。 ・アリーナ建設予定地にて発掘調査を開始した。 ・まちづくりアイデアコンペを実施し、東静岡地区まちづくり基本構想骨子をまとめた。	5	計画通りの進捗であり、事業手法をPFI(BT+コンセッション方式)とし、令和7年度中に事業者公募を実施する予定。	事業者公募に向け、民間事業者との意見交換により、実施方針、要求水準書等の詳細を決定する。 アリーナを核としたまちづくりの推進のため、東静岡地区まちづくり基本構想、基本計画の策定を行う。	・アリーナ整備・運営事業者の公募選定を行った。 ・アリーナを核としたまちづくり推進のため、東静岡地区まちづくり基本構想を策定した。	5	計画通りの進捗であり、令和12年度の開業に向け、アリーナ整備を実施する予定。 事業者を選定したことにより、事業が本格的にスタートすることが市内に周知され、事業への機運が高まった。	まちづくり基本計画を策定し、パデストリアンデッキ他、アリーナ周辺整備、公民連携のまちづくりを進める。	【実施目標】 ・アリーナ基本設計の完了 ・東静岡地区まちづくり基本計画の策定。 【設定理由】 まちづくり基本計画策定により、将来の東静岡エリアの姿を市民からもイメージでき、期待感を持つことができる。 加えて、アリーナの基本設計が完了することにより、アリーナ事業の進捗が市民に周知され、より期待感を高める。	社会共有資産利活用推進課		
44	2-1-①	サッカースタジアムによるまちづくり検討事業	本市のまちづくりにとってふさわしいスタジアムのあり方に係る調査・検討を実施する。	本市のまちづくりの方向性に合わせた整備の推進	スタジアム整備の最有力候補地の地権者と土地利活用に関する事業計画案の検討を行うとともに、関係者との調整を行った。	4	最有力候補地の地権者と土地利活用に向けた協議は最終段階に進んだが、合意には至っていない。	最有力候補地の地権者の合意が得られるよう、引き続き協議を行っていく。	最有力候補地の地権者と土地利活用に向けた土地売買協議について合意に進んだ。	4	当初の最有力候補地は、静岡市が所有し土地区画整理事業を行って土地開発を行うこととして整理された。	土地売買仮契約を地権者と行い、財産首都機議案の議決を得る必要がある。また、まちづくりの中核となる施設の最有力候補となった多目的スタジアムについて実現可能性調査を行う。	土地売買仮契約を地権者と行い、財産首都機議案の議決を得て、静岡市も地権者の一員となり、土地区画整理事業を進める。また、まちづくりの中核となる施設の最有力候補となった多目的スタジアムについて実現可能性調査を行う。	社会共有資産利活用推進課	スポーツ振興課	3-2-①
45	2-1-①	生涯学習施設におけるスポーツ活動団体への貸館の実施	生涯学習施設でスポーツ活動を行う団体への貸館を実施する。	無人館を除く37施設で実施	無人館を除く37施設で実施した。	5	例年通り、貸館を実施した。	—	無人館を除く37施設で実施した。	5	例年通り、貸館を実施することで、市民の健康増進を図るとともに、スポーツを通じた人と地域のつながりを育み、活力あるまちづくりに寄与した。	【課題】 活動の継続及び団体化 【取組内容】 貸館利用の案内や情報提供を継続し、自主団体の設立と継続的な活動を支援する。	【実施目標】 無人館を除く37施設で実施 【設定理由】 スポーツ活動団体の活動場所を確保し、継続的な活動を支援するため、37施設を目標に設定した。	生涯学習推進課		

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり
基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

施策2の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全17件)	2	0	1	4	10

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
46	2-1-①	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家トレイルランニングコースの整備	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟氏監修によるトレイルランニングコースを定期的に整備する。	トレイルランニングコースの整備	・トレイルランニング全コース(4・8・12・30km)の整備点検を実施した。	5	・4月のコースオープン前と12月のコース閉鎖後に重点整備を行うと共に、オープン期間中は定期的に整備を実施できた。	令和7年度から事業縮小に伴いトレイルランニングコース閉鎖	令和7年度から事業縮小に伴いトレイルランニングコース閉鎖	1	コース閉鎖	令和8年度から、社会共有資産利活用推進課に所管を替え、利活用を検討していく。	令和8年度以降廃止	環境共生課 (R8年度:社会共有資産利活用推進課)	
47	2-1-①	登山道の維持管理	南アルプス登山道の整備を行い、登山者の安全を確保する。	登山道の整備	・茶臼岳登山道吊橋修繕 ・聖沢登山道崩落箇所復旧	5	・老朽化や災害により破損した登山道の工作物や、大雨により崩落した登山道の修繕を、夏山開き前までに完了できた。	登山道の修繕箇所を網羅的に調査し、段階的に修繕する必要がある。	・茶臼岳登山道吊橋修繕 ・聖沢登山道吊橋修繕 ・畑雑大吊橋修繕	5	・老朽化や災害により破損した登山道の工作物の修繕を、夏山開き前までに完了できた。	登山道の劣化状況調査を定期的に行い、登山道の劣化状況を把握する必要がある。 令和7年度に実施した登山道の劣化状況に係る調査結果に基づき、優先順位をつけて修繕を実施する。	【実施目標】 候補箇所の修繕検討、実施 【設定理由】 登山道の危険箇所を修繕し、登山者のより安全な登山につながる。	環境共生課	
48	2-1-②	市内高校野球大会の開催	市内高校の競技力向上とチーム間の交流を深めることを目的に、トーナメント戦を開催する。	年1回開催	(廃止理由) 本市において、市の補助金で開催される、市内の高等学校のみを対象とした他競技の大会は実施しておらず、野球のみを実施する必要性は認められず、大会は20回開催され、本事業の当初の目的は達成されたと判断したことから、本事業を廃止した。									スポーツ振興課	1-1-①
49	2-1-②	高校野球における静岡市・甲府市連携交流事業	静岡市・甲府市連携交流事業の一環として、両市の市立高校の交流試合を実施することにより、青少年の交流を深める。	年1回開催	年1回開催	5	計画通り実施できた。	継続して実施していく。	計画通り実施できた。	5	両市の高校生の交流を通じて相互理解と友好を深め、青少年の健全育成や地域間交流の促進につながった。	行政の役割は個別競技大会の運営そのものではなく、市民や団体が交流できる環境を整備することにあると考え、野球交流については競技団体等が主体的に実施し、市は後援や調整支援を行うことで十分に目的を達成できると判断し令和8年度から市主体の実施は行わない。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	1-1-①
50	2-1-②	市民スポーツ大会の開催	年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう、様々な種目を競技するスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ普及や競技力向上を図る。	年30回以上開催(各競技1回以上) 延べ参加者数 40,000人以上	29回開催 延べ参加者数31,745人	4	感染症の影響により一部の大会が中止となったが、概ね計画通り実施できた。(バス移動、宿泊のため、インフルエンザの流行を危惧し、スキー協会が中止決定)	継続して実施していく。	31回開催 延べ参加者数29,580人	4	延べ参加者数は達成できなかったが、年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう様々な種目を競技するスポーツ大会を開催したことで、市民へのスポーツ普及や競技力向上につながった。	幅広い世代が参加しやすい事業内容や周知方法を検討する。	【実施目標】 年30回以上開催(各競技1回以上) 延べ参加者数 40,000人以上 【設定理由】 年代や性別等を問わず多くの市民が参加できるよう様々な種目を競技するスポーツ大会を開催したことで、市民へのスポーツ普及や競技力向上につながるため。	スポーツ振興課	1-1-⑤
51	2-2-②	ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進委員と共催でウォーキングイベントを開催する。	年2回開催 参加者数 400人以上	年1回開催 参加者数100人	3	清水区スポーツ推進委員会と3月にさくらウォークを開催した。	各区スポーツ推進委員と調整し、年2回開催を目指す。	年1回開催 参加者34名	3	気軽に参加できる運動機会を提供することで、市民の健康増進や運動不足の解消に寄与した。	幅広い世代が参加しやすい事業内容や周知方法を検討し、市民の運動習慣の定着と継続的な参加促進を図る。	【実施目標】 年1回開催 【設定理由】気軽に参加できる運動機会を提供することで、市民の健康増進や運動不足の解消に寄与するため。	スポーツ振興課	1-1-⑤
52	2-1-②	蒲原ニューイヤークウォークの開催	蒲原市街地から富士川地区、由比地区を回る、蒲原ニューイヤークウォークを開催する。	年1回開催 参加者数 250人以上	年1回開催 参加者数 246人	4	計画通りに実施したが目標人数に僅かに届かなかった。	継続して実施していく。	熊出没情報多発により中止	1	熊出没情報多発により中止	ウォーキングについては、民間事業者やスポーツ団体等により多様なイベントが実施されており、市民の参加機会は一定程度確保されている。市が催事業として実施する必要性は低く令和8年度から市主体の実施は行わない。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
施策の柱:1 スポーツを支えるための場づくり
基本施策:①スポーツ施設等の整備 ②スポーツを楽しむためのイベント開催

施策2の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全17件)	2	0	1	4	10

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
53	2-1-②	佐久市とのスポーツ親善交流 事業	友好姉妹都市である佐久市の市民との交流ス ポーツイベントを開催する。	年1回開催 ※開催地は輪番制	年1回開催 (R6は静岡市で開催)	5	婦人バレー、壮年ソフト、少年野 球の3種目で開催した。	事業の規模、実施種目等を検 討しつつ継続して実施してい く。	年1回開催 (R7は佐久市で開催)	5	婦人バレー、壮年ソフト、少年野 球の3種目で開催し、スポーツ を通じて両市民の交流が生ま れ、継続的な人的ネットワー クや交流のきっかけが創出さ れた。	事業の規模、実施種目等を検 討しつつ継続して実施してい く。 (令和8年度は市主催ではな い)	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	1-1-⑤
54	2-1-②	障がい者スポーツへの 理解促進	障がい者スポーツを体験できる場を設けたス ポーツイベントを開催することで、障がい者ス ポーツに親しむきっかけを作るとともに、誰も が楽しめるスポーツであることを知ってもらう。	年1回以上開催	年2回開催	5	・障がい者スポーツ体験 6月16(日)、11月3日(日)に 清水区チャレンジスポー ツDAYにおいて、(社福)静岡市 しみず社会福祉事業団みな とふれあいセンターと協働し、障 がい者スポーツ体験を実施し た。	令和6年度から、障がい者ス ポーツ分野がスポーツ振興課 に移管されたことにより、既存 のスポーツ振興事業について、 障がいのある方が参加できる よう、見直していく。	年2回開催	5	障がい者スポーツ体験 6月15(日)、11月9日(日)に 開催した清水区チャレンジ スポーツDAYにおいて、(社福) 静岡市しみず社会福祉事業 団みなとふれあいセンターと協 働し、障がい者スポーツ体験を 実施し、市民が多様なスポーツ を実施する機会が創出された。	障がい者スポーツへの理解は 一定程度進んでいるものの、日 常的に障がい者と健常者が一 緒にスポーツを楽しむ機会は依 然として限られている。障がい 者スポーツに限らずユニバーサ ルスポーツ体験会や地域交流イ ベントを継続的に実施し、障が いの有無に関わらず誰もがス ポーツを楽しめる環境づくりを 進める。	【実施目標】 外部団体(市内企業等)と連 携してユニバーサルスポー ツ体験会を1回以上行う。 【設定理由】 障がいの有無に関わらず誰 もがスポーツを楽しめる環 境づくりを進めるため。	スポーツ振興課	
55	2-1-②	市民ウォーキングの開催	市民ウォーキングを開催し、市民の健康増進や交 流を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・田貫湖周辺コース約10km ・バスツアー形式 ・参加人数110人 ・静岡市山岳連盟と連携	5	・定員120人のところ申込人数 は275人であった。 ・アンケート結果は良好であり、 事業の目的が達成された。	—	・1回開催 ・田貫湖周辺コース約10km ・バスツアー形式 ・参加人数114人 ・静岡市山岳連盟と連携	5	・定員120人のところ申込人数 は339人であった。 ・9割以上の参加者から、普段 運動しない人が定期的に運動 するきっかけになりそうである イベントであると評価された。	幅広い市民が参加したいと思 える魅力的なコースを開拓す る。	【実施目標】 年1回以上開催 【設定理由】 市民がウォーキングに親しむ 機会を提供し、運動習慣の定 着及び健康増進を図るため。	静岡市スポーツ協会	1-1-⑤
56	2-1-②	スポーツ講演会の開催	著名なスポーツ選手や指導者を招き、スポーツを テーマとした講演会を開催することで、市民への スポーツ普及啓発や競技力向上、指導者の指導力 向上等を図る。	年1回以上開催	・1回開催 ・講師 福尾 誠 氏 ・演題「幼少期における運動の 大切さ ～こどもたちの未来の ためにできること～」 ・聴講人数417人	5	・対象を小学3年生までの子 を持つ保護者に限定した。 ・申込人数は1,082人で、当選 者の来場率は約91%であっ た。 ・アンケート結果は良好であり、 事業の目的が達成された。	様々な分野の講演会を実施し、 幅広いニーズに応じていける よう、テーマや講師の選定をし ていきたい。	・1回開催 ・講師 岩崎 由純氏 ・演題「心に響くコミュニケー ション ペットトーク」 ・聴講人数 146 人	5	・スポーツ指導者や教育関係者 をはじめ、家庭や職場で人と関 わる立場の参加者からは、「子 どもへの声かけを変えたい」、 「指導現場ですぐに生かした い」といった実践につながる感 想が目立った。	様々な分野の講演会を実施し、 幅広いニーズに応じていける よう、テーマや講師を選定す る。	【実施目標】 年1回以上開催 【設定理由】 スポーツに関する講演を通じ て、市民のスポーツへの関心 を高めるとともに、競技力や 指導力の向上を図るため。	静岡市スポーツ協会	
	2-1-①	ハイキングコースの整備	市民が安全にハイキングできるよう、市内ハイキ ングコースの安全管理を行い、遭難等を防止す る。	ハイキングコースの整備	・コース上の草刈の実施 ・案内看板、危険箇所の修繕の 実施 ・関係団体との報告会の実施	5	計画どおり実施できた。	引き続き、市民が安全にハイキ ングコースを利用できるよう、 関係団体等と連携を取り、危険 箇所の早期発見に努め、計画的 に修繕等を行っていく。	・コース上の草刈の実施 葵区・駿河区13回、清水区70 回 ・案内看板、危険箇所の修繕の 実施 ・関係団体との報告会の実施 (3回)	5	コース上の草刈りや関係団体と の報告会を定期的に行うこと も必要に応じて修繕を実施 し、市民がスポーツに親しむた めの環境整備に寄与した。	引き続き、市民が安全にハイキ ングコースを利用できるよう、 関係団体等と連携を取り、危険 箇所の早期発見に努め、計画的 に修繕等を行っていく。	【実施目標】 ハイキングコースの整備 【設定理由】 ハイキングコースを整備し安 全に利用できるように、 多くの人がスポーツに親しむ 環境が整うため。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり
基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

施策2の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	1	1	2	8

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
57	2-2-①	スポーツ指導者スキルアップ講習会の開催	大学教員や医師、インストラクター等を招いて、スポーツ指導者を対象に基本的な指導方法や指導に対する心構えなどの習得を支援し、スポーツ指導者の資質向上を図る。	スポーツ指導者スキルアップ講習会 年6回開催	年6回開催(10月、11月) 延べ参加者201人	5	計画通り実施できた。	参加したくなる科目を検討し、継続して実施していく。	年1回開催(2月) 受講者数18人	2	直営で実施したため、年1回の開催となった。 応急処置、テーピングの実技を含む、レベルの高い講習会を午前、午後の1日で開催し、スポーツ指導者の指導技術を向上することができた。	参加者数が少なく、費用対効果の面で課題があること、指導者育成に関するニーズは多様化・専門家しており、指導者の資質向上に係る専門的な研修については、競技団体やスポーツ関係団体が主体的に実施することが望ましいことから、行政が主催する事業としては一定の役割を終えたものと判断し、令和8年度以降は廃止することとした。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	
58	2-2-①	学校プール監視員講習会の開催	学校等体育施設利用事業において、プールの正しい利用方法と、利用に際しての対応方法や知識を身につけるための講習会を実施する。	年1回実施	年1回開催(6月)	5	計画通り実施できた。	継続して実施していく。監視員証携帯の現地確認等を行いながら、引き続き安全にプールが利用できるような支援を行っていく。	年1回開催(6月)	5	年1回(2日間)開催することができ、市民が学校プールを安全に利用できる環境を整備することができた。	継続して実施していく。監視員証携帯の現地確認等を行いながら、引き続き安全にプールが利用できるような支援を行っていく。	【実施目標】 年1回開催 【設定理由】 スポーツボランティア数の拡大に寄与するため。	スポーツ振興課	
59	2-2-①	生涯学習施設でのスポーツ指導者を養成する講座の開催	生涯学習施設でスポーツ指導者を養成する講座を開催する。	年1講座以上の開催	年1講座開催。 修了人数5人	5	駿河生涯学習センター「運動でつながる～スキルを活かそう～」において、運動指導のスキルを持つが、それを活かす企画と機会のない人材向けに講座開催した。	—	年1講座実施 修了人数5人	5	運動指導のスキルを持つ市民の活躍機会の創出を通じて、スポーツを支える人材の育成と地域のつながりづくりに寄与した。	スポーツ指導者養成講座の受講者が、修了後に地域で活躍する機会の確保が十分ではない。活動機会の提供や関係団体とのつながりづくりを支援し、スポーツを支える人材の育成・活躍につなげる。	【実施目標】 年1講座実施 修了人数5人 【設定理由】 スポーツを支える人材を育成し、市民のスポーツ参加機会の充実や地域交流の促進につなげるため、講座を実施する。昨年度実績の修了人数5人を目標とする。	生涯学習推進課	
60	2-2-①	体育・保健体育科の授業づくり研修会の実施	スポーツ庁主催の研修会に参加した教諭が講師となり、教員を対象に授業づくり研修会を実施する。全ての児童生徒が、体を動かす楽しさを味わい、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けることができるような体育・保健体育の指導の在り方を学ぶ。	課題改善および授業改善に向けた研修内容の設定	研修会の実施 2回 参加者(満足度%) 小学校57名(満足度4.77) 中学校28名(満足度4.78)	4	・小・中学校ともに満足度を維持し、充実した研修会が行うことができている。 ・中学校では、ニーズの高い柔道を実施したため、参加人数が令和5年度より増加している。	・体づくり運動・表現運動・柔道・保健と教員が指導に苦手意識を抱きやすい領域の研修会を開催する。 ・熱中症対策を万全にし、空調設備の整った会場で実施していく。	研修会の実施 2回 参加者(満足度%) 小学校61名(満足度4.62) 中学校29名(満足度4.79)	4	・小・中学校ともに充実した研修会を行うことができているため、高い満足度が得られている。 ・小学校では、体育授業の基盤となる体づくり運動の研修を実施したため、幅広い世代の教員が参加することができた。 ・9月以降の授業づくりに生かされることで、「体育が楽しい」と感じる児童生徒の育成につながった。	【課題】 安全対策を万全にし、研修員にけががないよう実施していく必要がある。 【取組内容】 近年、取り扱うことのできなかった陸上運動系と、男女共習の良さを広げられるボール運動系の研修会を開催する。	【実施目標】 実施回数 2回 参加者の満足度4.3以上 【設定理由】 ・開催数は、会場予約や講師謝金等の制約から2回とした。 ・参加者の満足度は、センターの他の研修の平均値から、4.3以上とした。 ・教職員の指導力が向上することで、「運動やスポーツが好き」と感じる児童生徒が増えることにつながるため。	教育センター	1-1-①
61	2-2-②	ボランティア情報の提供	静岡市のホームページ等を活用して、スポーツ大会やイベント等のボランティア情報を提供する。	継続実施	市HPにボランティア情報統合して掲載するページを作成した。	4	市HPにボランティアページを作成したことで、市内の情報だけでなく、全国・国際大会等のボランティア募集情報も掲載することができている。	引き続き、掲載を実施する。	昨年度作成したスポーツボランティア情報ページ(市ホームページ)を活用し、ホームタウンチームの試合運営や全国大会、国際大会等におけるスポーツボランティアの募集情報を発信した。	4	スポーツボランティアに関する情報を一元的に発信することで、市民がボランティア活動に関する情報へアクセスしやすい環境を整備することができた。	スポーツ分野に加え、文化・観光・まちづくり等の関連分野とも連携し、ボランティア情報の発信内容の充実を図る。	【実施目標】 継続実施 【設定目標】 スポーツボランティア情報を継続的に発信することで、市民がスポーツを「ささえる」という立場でスポーツに参画する環境が整備されるため。	スポーツ振興課	
62	2-2-②	パルちゃんクラブの活動支援	エスパルスの安定的な活動を下支えるため、エスパルスホームゲーム運営ボランティア「パルちゃんクラブ」の活動を支援する。	延べ900人以上活動	シーズンを通じて延べ897人が活動した。	4	活動人数だけでなく登録団体数も11団体あり、ホームゲーム運営の支援が充実している。	近年、猛暑の中での活動になることが増えているため、スタッフの健康管理についてケアしていく必要がある。	シーズンを通じて延べ1,005人が活動した。	5	パルちゃんクラブの活動を知った高校生・大学生の部活やクラス単位での参加が増えており、ホームゲーム運営の支援が充実しているとともにスポーツボランティア数の拡大に寄与している。	新規の参加者が増え、今後も安定的なボランティア活動が行えるよう活動の情報を発信していく。	【実施目標】 延べ900人以上活動 【設定理由】 ホームゲーム運営の支援が充実するとともにスポーツボランティア数の拡大に寄与するため。	スポーツ振興課	3-2-②

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:2 スポーツに日常的に親しむための環境整備
施策の柱:2 スポーツを支えるための人づくり
基本施策:①スポーツ指導者への支援 ②スポーツボランティア活動の普及促進 ③競技力向上への支援

施策2の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全12件)	0	1	1	2	8

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
63	2-2-③	国際大会等出場報奨金	国際大会や国民体育大会への出場選手(市内在住、在学)が所属するスポーツ団体や学校に対して報奨金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	報奨金交付件数 15件	23件	5	計画通り実施できた。	申請をLoGoフォームでできるよう検討する。	奨励金交付件数 20件 申請・報告の提出をLoGoフォームでできるようにした。	5	奨励金を交付し、スポーツ選手の育成やスポーツ団体等によるスポーツ活動を支援することにつながった。	申請数の増加につなげる情報を拡散するシステム作りをし、多くの対象者に補助金を交付できるようにしていく。	【実施目標】 報奨金交付件数 15件 【設定理由】 スポーツ選手の育成やスポーツ団体等によるスポーツ活動を支援することにつながるため。	スポーツ振興課	1-1-①
64	2-2-③	全国大会出場補助金	全国大会に出場する学生(市内在住、在学)に補助金を交付することで、選手の活躍と競技力向上に繋げる。	補助金交付件数 150件	238件	5	計画通り実施できた。	申請をLoGoフォームでできるよう検討する。	補助金交付件数 209件 申請・報告の提出をLoGoフォームでできるようにした。	5	補助金を交付し、スポーツ選手の育成やスポーツ団体等によるスポーツ活動を支援することにつながった。	申請数の増加につなげる情報を拡散するシステム作りをし、多くの対象者に補助金を交付できるようにしていく。	【実施目標】 補助金交付件数 150件 【設定理由】 スポーツ選手の育成やスポーツ団体等によるスポーツ活動を支援することにつながるため。	スポーツ振興課	1-1-①
65	2-2-③	障害者スポーツ国際競技大会出場報奨金	障がい者スポーツの振興並びに障がい及び障がい者に対する市民の理解の促進を図るため、障がい者スポーツの国際競技大会に出場する者に対し、報奨金を交付する。	継続実施	(廃止理由) No.63に統合したため。									スポーツ振興課	1-1-④
66	2-2-③	指導者マッチング制度の運用	指導者を探している団体等に対し、適切な指導者を検索し紹介する。	マッチング成功率70%以上	依頼なし	3	制度そのものに対する認知度が十分でない可能性がある。	ウェブサイト・SNS・広報誌等を活用した積極的な周知を行う。	・依頼なし ・中学校部活における指導者の紹介について父母会から相談があったが、調整の結果、正式な依頼には至らなかった。	3	・相談があったことで一定のニーズは確認されたが、制度の活用方法が、十分に認知されていない可能性がある。	制度の周知を継続するとともに、制度の利用例等を分かりやすく示す。	【実施目標】 マッチング成功率70%以上 【設定理由】 本制度が利用者のニーズに応える有意義な仕組みとして機能していることを評価するため。	静岡市スポーツ協会	2-2-①
67	2-2-③	ジュニア層育成補助事業	ジュニア層(小中学生)を対象とした種目別講習会等の開催に対して補助金を交付し、競技人口の拡大や技術力の向上を図る。	10種目以上実施	・10種目の実施(申請11種目) ・実施:山岳・サッカー・水泳・相撲・ソフトテニス・テニス・バスケットボール・バレーボール・ラグビーフットボール・空手道 ・中止:野球	5	・申請があった11種目の内、1種目が諸事情により中止となった。 ・各種目において実施目的を達成した。	—	・10種目の実施(申請11種目) ・【実施】山岳・サッカー・水泳・相撲・ソフトテニス・テニス・バスケットボール・バレーボール・ラグビーフットボール・スケート ・【中止】空手道	5	・申請があった11種目の内、1種目が諸事情により中止となった。 ・各種目において競技人口の拡大や技術力の向上が図られた。	より多くの種目で継続的に事業を実施できるよう、各競技団体の実施意向や課題を把握し、計画的な事業実施に向けた支援を行う。	【実施目標】 10種目以上実施 【設定理由】 ジュニア層を対象とした種目別講習会等への支援を通じて、競技に親しむ機会を創出し、競技人口の拡大及び競技力の向上を図るため。	静岡市スポーツ協会	2-2-①
68	2-2-③	表彰式の開催	静岡市スポーツ協会の表彰規定に基づき、功労者、優秀指導者、優秀選手及び優秀団体を表彰する。	年1回以上実施	・1回開催 ・功労章 11名 ・優秀指導者章 28名 ・優秀選手章 25名 ・優秀団体章 1団体	5	・永年にわたる、スポーツの普及・振興への貢献や国際大会での顕著な成績など、様々な面から静岡市のスポーツ文化の向上に寄与された方々を表彰した。	—	・1回開催 ・功労章 13名 ・優秀指導者章 26名 ・優秀選手章 15名 ・優秀団体章 3団体	5	・指導者や競技者など、多くのスポーツ関係者にとっての新たな目標となった。 ・静岡市のスポーツ文化が豊かで多様性に富んでいるかを、広く市民の皆様知っていたべく機会となった。	各競技団体との連携を密にし、表彰対象となる功労者、指導者、選手及び団体を適切に把握するとともに、円滑な推薦及び表彰式の実施に努める。	【実施目標】 年1回以上開催 【設定理由】 スポーツの普及・振興に貢献した功労者、指導者、選手及び団体を表彰し、その功績を広く周知することで、スポーツ関係者の活動意欲の向上及び市民のスポーツへの関心の喚起を図るため。	静岡市スポーツ協会	2-2-①
69	2-2-③	スポーツクリニックの開催	プロや実業団チーム等がキャンプ合宿に来静した機会をとらえ、スポーツクリニックを開催し、少年少女への指導を実施する。	年1回以上開催	年3回開催 参加者数: 77名	5	東京羽田ヴィッキーズ(バスケットボール)、ヴァンフォーレ甲府(サッカー)の協力により、クリニックを開催し、トップ選手から直接のアドバイスをもらえる機会を創出できた。	バスケットボール、サッカーに限らず、卓球、バレーなど他種目での開催を検討	・年2回開催 ・参加人数 66人	5	女子バスケットボールチームの合宿時には調整がつかず、地元のシャンソン女子バスケットチームの協力を得て、クリニックを開催 また、ヴァンフォーレ甲府の協力により、地元少年団サッカーチームとの交流会を開催し、トップアスリートと地域の子どもたちが触れ合う機会を創出した。	・バスケットボール、サッカーに限らず、卓球、バレーなど他種目での開催を検討 ・キャンプ・合宿誘致にむけた営業活動の強化	【実施目標】 年1回以上開催 【設定理由】 トップレベルの選手からアドバイスをもらえる機会をつくり、市民がスポーツの楽しさを体感することができるため。	静岡市 まちづくり公社	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通した人々の交流による地域の活性化
施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進
基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通した交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全13件)	3	0	1	4	5

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
70	3-1-①	全国少年少女サッカー大会 の開催支援	全国少年少女草サッカー大会の開催を支援するほか、大会参加者へ「サッカーのまち静岡」の情報を発信する。さらに、大会の開催を通じて、小学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深める。	市外からの参加者の割合 80%	市外からの参加者割合80.0%	5	男女120チーム中、96チームが市外チームの参加となり目標を達成することが出来た。	令和6年度より8月に開催していた大会を熱中症になる選手・観戦者がいたため、体調面を考慮し大会開催日を12月に変更した。令和7年度以降の大会運営等について、今年度の大会開催状況を鑑み検討する必要がある。	市外からの参加者割合78.4%	4	男女120チーム中、96チームが市外チームの参加となり目標を概ね達成することが出来た。市外からの参加者割合は78.4%となり、目標の80%にはわずかに届かなかったが、男女120チーム中96チームが市外チームであり、全国規模の大会として高い集客力を維持することができた。「サッカーのまち静岡」のPRや交流人口の拡大に寄与した。	全国の小学校の冬季休業期間の関係から大会日程が平日となる場合があり、参加チームの確保が課題である。草サッカー大会事務局と連携し、募集時期や募集方法の見直し、情報発信の強化を行うことで、市外参加チームの確保及び参加者割合の向上を図る。	【実施目標】 市外からの参加者の割合80% 【設定理由】 全国から多くのチームが参加する大会であり、市外参加者の割合を維持・向上させることで、「サッカーのまち静岡」の発信や交流人口の拡大、宿泊・飲食等を通じた地域経済への波及効果につながるため、市外からの参加者割合80%を目標として設定した。	スポーツ振興課	1-1-①
71	3-1-①	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会の開催支援	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会に助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ「スポーツチャンバラ発祥の地 由比」の魅力を発信する。大会の開催を通じて、誰もが楽しめる生涯スポーツとしてスポーツチャンバラの普及、啓発を図る。	大会参加者及び来場者数 300人以上	大会参加者及び来場者数 455人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、選手253人、保護者・役員等202人の計455人の参加があり、実施目標を達成できた。	一般財団法人地域活性化センターからの補助金が令和6年度実施事業までとなる。そのため、令和7年度以降の大会実施に向けて、自立した大会運営できるように、実行委員会へのアドバイス等のサポートを行っていく必要がある。	今年度開催がなくなり、次年度以降も開催なし。 ※今年度の全国大会は、兵庫県での開催となった。	1	開催なし	—	令和8年度以降も開催なし	スポーツ振興課	1-1-①
72	3-1-①	静岡野球ウィークの開催支援	静岡野球ウィークに助成し、開催を支援するほか、大会参加者へ静岡市の情報を発信する。大会の開催を通じて、中学生世代の選手育成及び全国から集まる選手との交流を深めるほか、市民の野球熱向上を図る。	市内延べ宿泊者数 2,500人以上	市内延べ宿泊者数 3,200人	5	補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。また、市内延べ宿泊者数が目標を上回る事ができた。	令和6年度から、開催地が変更となるため、事業自体が令和5年度で終了する。						スポーツ振興課	1-1-①
73	3-1-①	全国大会等の開催支援	多くの来静者が見込まれる全国大会等が市内で開催される際に、会場や補助制度の紹介等の支援を行うほか、大会参加者、観戦者へ静岡市の情報発信を図る。	開催支援 随時実施	①第15回西日本古希軟式野球大会開催 ②日本知的障がい者バドミントン選手権大会	5	①補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。 また、大会公式プログラムへ静岡市の名所の掲載、観光情報を大会参加者、観戦者へ配布することで静岡市の情報発信を図る事ができた。 ②大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。	令和6年度は、9月に全日本軟式野球大会(天皇杯)、12月にパラバドミントンの日本選手権が開催されるが、引き続き静岡市内で全国大会が開催されるように関係団体等と調整を図る必要がある。	パラバドミントン大会の共催 ①第7回全国知的障がい者バドミントン選手権 ②Japanパラバドミントン国際大会	5	6月に第7回全国知的障がい者バドミントン選手権大会、12月にJapanパラバドミントン国際大会を実施し、国内外から多くの方が静岡市を訪れたため、達成度合いを5とした。	令和8年度にJapan車いすバドミントン国際大会の開催を予定しているが、実施時期や規模などの詳細は、日本パラバドミントン連盟が調整中である。大会開催の円滑な運営支援ができるよう担当者との連携を図る必要がある。	【実施目標】 第8回全国知的障がい者バドミントン選手権の開催支援 【設定理由】 市外から多くの方が参加する大会で参加者や大会関係者、観戦者に静岡市の情報発信を行い、地域経済への波及効果の拡大につなげるため。	スポーツ振興課	1-1-⑤
74	3-1-①	静岡マラソンの開催支援	地域経済の活性化及び市民のスポーツ振興やまちづくりの推進を図る。	国外・県外エントリー率55% (フルマラソンの定員数12,000人)の55%は6,600人)	静岡マラソン2024大会 開催日 令和6年3月10日 フルマソン参加者割合 全体 12,006人 県外(海外含む) 7,086人(59.0%) 海外 658人(5.5%)	4	コロナ禍を経て、2019大会以来5年ぶりに2024大会を開催した。 5年前の2019大会のフルマソンの県外(海外含む)参加者は62.1%(A)に対し、今大会実績は59.0%(B)で95.0%(=B/A)に留まったため、達成度合いは4とした。	5年ぶりの開催で準備期間が不足し、周知・PRを十分にできなかった。 今後は、県内は新聞、テレビ等のマスメディアによりランナー以外の市民も含めて広く周知するとともに、県外・国外はSNSや雑誌などによりランナーに的を絞って効果的な情報発信に取り組み、参加者増加を図る。また、2024大会での参加者やスタッフ等関係者の声を基に改善し、本市の魅力を活かした大会にしていく。	静岡マラソン2026大会 開催日 令和8年3月8日 フルマソンエントリー 全体 13,405人 県外(海外含む) 8,232人(61.1%) 海外 638人(4.7%)	5	前年大会のフルマソンにおける県外・海外参加者の割合は58.4%(A)であったのに対し、今大会は61.1%(B)となり、前年を4.6%上回る104.6%(B/A)となったことから、達成度合いを「5」と評価した。市外からの参加者の増加により、「市外から各種大会に参加する人の数」の増加に寄与するとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化につながった。また、市民ボランティアや沿道応援などを通じて、市民がスポーツに親しみ、大会を支える機会の創出につながった。	県内は新聞、テレビ等のマスメディアによりランナー以外の市民も含めて広く周知し、県外・国外はSNSや雑誌などによりランナーに的を絞って情報発信を行い、参加者増加を図る。また、ランナーや大会関係者へのアンケートを実施し、大会に携わる方の意見を多く取り入れ、本市の魅力を活かした大会にしていく。	【実施目標】 国外・県外エントリー率55%(フルマラソンの定員数13,000人)の55%は7,150人) 【設定理由】 令和7年度実績を踏まえ、市外からの参加者を安定的に確保するため、国外・県外エントリー率55%を目標として設定した。これにより、「市外から各種大会に参加する人の数」の増加に寄与するとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図るため。	スポーツ振興課	1-1-⑤
75	3-1-①	清水マリーンフェスティバルの開催支援	清水マリーンフェスティバルに助成し、開催を支援することで、海洋スポーツの振興及び普及を図る。	大会参加者及び来場者数 1,200人以上	開催日 令和5年7月16日 大会参加者及び来場者数 1,600人	5	コロナ禍を経て、4年ぶりの開催となったが、補助金交付事務処理の円滑な実施、大会開催の円滑な運営支援について、滞りなく実施できた。 また、大会参加者及び来場者数が実施目標を上回ることができた。	大会が成功した一方で、使用するレガッタの老朽化や台船、運搬トラック等の賃借料の高騰、大会を運営する担い手や参加チームの減少などの問題点が明らかになった。大会継続可否も含めた運営体制を実行委員会で検討していく必要がある。	大会参加者及び来場者数 6,400人	5	実施目標の大会参加者及び来場者数1,200人以上に対し、6,400人の来場であり、目標を大幅に上回る来場があった。静岡市の景観を活かした三保内浜でマリンスポーツのイベントを実施したことで、マリンスポーツに親しむ機会を創出するとともに、交流人口の増加による地域活性化に寄与した。以上のことから、達成度合いは5とした。	補助金が廃止されたため令和8年度以降は廃止とするが、大会の広報活動等については協力していく。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	1-1-⑤

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進
基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

施策3の柱1					※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度		達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している		達成している			
取組事業数 (全13件)		3	0	1	4		5			
達成度		達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している		達成している			
		1	2	3	4		5			
目安		0%	10～20%	21～69%	70～99%		100%			

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由		
76	3-1-①	合宿の誘致及び受入	主に国内における各種競技のトップチームを対象として、合宿の誘致活動の実施及び受入時の支援をすることで、継続的な合宿の受入を目指すとともに、地域経済の活性化を図る。	合宿受入件数 年3件以上	合宿受入件数 年3回	5	成果指標の、国内代表クラスの合宿受入件数は1件となったが、国外から台湾陸上代表チーム、アメリカアーティスティックスミミングの代表チームが合宿を行ったため、合宿受け入れ件数としては目標を達成した。	代表クラスの合宿の誘致は継続して行っていくが、それ以外の合宿受け入れについて、静岡県スポーツコミッション担当室や、施設の優先予約について市内各施設と連携し誘致を推進していく必要がある。	合宿受入件数 年2回	4	車いすバスケットボール男子日本代表、デフバレーボール男子日本代表の合宿を行い、合宿受入件数が2件となったため、達成度合いを4とした。	代表クラスの合宿の誘致は継続して行っていくが、それ以外の合宿受け入れについて、静岡県スポーツコミッション担当室や、施設の優先予約について市内各スポーツ施設と連携し、合宿誘致を通じ、交流人口の増加を図ることで地域経済の活性化を図る。	【実施目標】 合宿受入件数 年3回以上 【設定理由】 市民がトップレベルの競技に触れる機会を創出するため。また、宿泊や飲食などの地域経済への波及効果や交流人口の拡大につなげるため。	スポーツ振興課	なし
77	3-1-②	台湾陸上協会との交流事業	台湾陸上協会と代表チーム合宿受入及び青少年相互派遣交流を実施し、選手の競技力や指導者の資質の向上を図る。また、スポーツを通じ異文化への理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する。	青少年相互派遣の実施 代表チーム合宿の実施	・台湾陸上協会代表選手合宿受入 受入期間:令和5年5月29日～6月18日 受入人数:28人(選手17人、コーチ等11人) ・台湾陸上協会との青少年交流事業 派遣期間:令和5年10月31日～11月4日 派遣人数:13人(コーチ2人、選手10人、市職員1人) ・台北マラソン交流 日程:令和5年12月15日～18日 訪台者:静岡市訪問団 35名	5	・台湾陸上協会代表選手合宿受入に伴い、トップアスリートの練習の見学や直接指導を受けたことにより、選手の競技力や指導者の資質の向上を図ることができた。 ・静岡市が派遣した高校生が、陸上競技だけでなく現地高校性と交流し、台湾文化への興味・関心を高める事ができた。 ・台北マラソン交流により、静岡市と台北市の更なる友好を深めることができた。	「静岡市及び台北市スポーツ交流に関する覚書」の有効期限が令和6年(2024年)まで、「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」が令和7年(2025年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和7年度以降の取組みに反映する必要がある。	・台湾陸上協会代表選手合宿受入 受入期間:令和7年9月7日～9月12日 受入人数:12人(選手7人、コーチ等5人) ・台湾陸上協会との青少年交流事業 受入期間:令和7年10月16日～10月20日 受入人数:11人 派遣期間:令和7年11月3日～11月7日 派遣人数:13人(コーチ2人、選手10人、市職員1人)	5	・台湾陸上協会代表選手合宿受入に伴い、トップアスリートの練習の見学や直接指導を受けたことにより、選手の競技力や指導者の資質の向上を図ることができた。 ・静岡市が派遣した高校生が、陸上競技だけでなく現地高校性と交流し、台湾文化への興味・関心を高める事ができた。	「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」が令和7年(2025年)までとなっていたため、覚書の更新をし、引き続き青少年相互派遣と、代表選手合宿の受入を行う。代表選手合宿に関しては、実施できない場合、ジュニアチームや大学生チーム等、他世代のチームの合宿を実施するものとした。	【実施目標】 青少年相互派遣の実施 代表チーム合宿の実施 【設定理由】 台湾との継続的なスポーツ交流を推進し、青少年相互派遣及び代表チーム合宿を実施することで、交流人口の拡大及び国際感覚豊かな人材の育成を図るため。	スポーツ振興課	2-2-③
77	3-1-②	台北市スポーツ交流事業	台北市とスポーツ交流を通じて、本市と台北市の交流人口の拡大を図る。	台北マラソンへの派遣実施 台北市スポーツ交流の実施	・台北マラソン交流 日程:令和5年12月15日～18日 訪台者:静岡市訪問団 35名	5	・台北マラソン交流により、静岡市と台北市の更なる友好を深めることができた。	「静岡市及び台北市スポーツ交流に関する覚書」の有効期限が令和6年(2024年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和7年度以降の取組みに反映する必要がある。	・台北マラソンへの訪問団及び選手の派遣 日程:令和7年12月19日～22日 訪台者:静岡市訪問団 6名 静岡市議団 14名 静岡商工会議所 14名 招待選手 2名	4	・台北マラソンへの派遣については、訪問団と選手を派遣するだけでなく、台北マラソンのゴールエリアにおいて静岡市PRブースを出展及び静岡市副市長による台北市副市長の表敬訪問を実施し、静岡市と台北市の更なる友好を深めることができた。 ・台北市スポーツ交流事業については、交流事業は未実施であったが、台北市教育局と調整を行い、令和8年度から事業が実施できるよう調整した。 ・上記2点より、達成度合いは4とした。	台北市スポーツ交流について、令和8年度に静岡市選手団の派遣、令和9年度に台北市選手団の受入を実施する。双方の派遣が完了する令和9年度に、事業の効果を検証し、今後の事業のあり方について、台北市と協議する必要がある。	【実施目標】 台北マラソンへの派遣実施 台北市スポーツ交流の実施 【設定理由】 台北市とのスポーツ交流事業を継続的に実施することによって、両市の友好関係をより層深化させることを目的とする。また、台北マラソンへの派遣やスポーツ交流事業を通じて、交流人口の拡大や本市の魅力発信につなげるとともに、市民が国際交流やスポーツ交流に触れる機会を創出し、国際理解の促進やスポーツへの関心・参加意欲の向上を図るため。	スポーツ振興課	2-2-③
78	3-2-②	ホストタウン相手国・地域等のトップアスリートとの交流	ホストタウン相手国・地域等のトップアスリートとの交流事業を通して、スポーツへの関心の向上を図る。	合宿受入れ時に練習見学会等の交流事業を実施	静岡市内で合宿中の台湾陸上協会代表選手による「走り方教室」の実施 開催日:令和5年6月16日 参加者:選手6人 清沢小学校児童15人	5	清沢小学校の体力テスト前日に選手から専門的なアドバイスを受けたことにより、児童のスポーツに対する関心が高まった。	「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」が令和7年(2025年)までとなっているため、締結期間終了後の方針を決定し、令和8年度以降の取組みに反映する必要がある。	静岡市内で合宿中の台湾陸上協会代表選手による「走り方・跳び方教室」の実施 開催日:令和7年9月9日 参加者:選手7人、由比北小学校児童15人	5	合宿受入れ時に「走り方・跳び方教室」を実施し、由比北小学校の児童がトップアスリートから専門的な指導を受ける機会を創出したことで、スポーツへの関心向上につながった。また、参加児童へのアンケートでは、回答した全員(15人)が教室に満足したと回答しており、交流事業として高い効果が得られたことから、達成度合いを5とした。	「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」を更新したことから、引き続き代表チーム合宿の受入れに合わせて交流事業を実施し、トップアスリートと市民が触れ合う機会を創出し、継続的な交流機会の確保を図る。	【実施目標】 合宿受入れ時に練習見学会等の交流事業を実施 【設定理由】 ホストタウン相手国・地域等(台湾陸上協会)のトップアスリートとの交流事業を実施することで、市民がトップレベルの競技や選手と触れ合う機会を創出し、スポーツへの関心の向上を図るため。	スポーツ振興課	1-1-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
施策の柱:1 スポーツツーリズムによるMICEの推進
基本施策:①全国大会等の開催支援や合宿の誘致 ②ホストタウン相手国・地域等とのスポーツを通じた交流の促進 ③静岡市の気候や景観等を活かしたスポーツイベントの開催

施策3の柱1	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全13件)	3	0	1	4	5

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言いえない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
79	3-1-㉓	葵区魅力づくり事業 (スポーツイベントの開催支援)	地域が主体となり実施するスポーツイベントなどの開催を支援することで、市内外の参加者に葵区の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	地域の要請に応じて実施 (年3回実施)	・健康卓球教室 1回 (参加人数22人) ・スポーツを活用した地域交流 拠点整備 1件 ・葵区自治会連合会における先進 事例の視察 1回	5	申請ベースでの取組のため、ス ポーツイベントの開催支援は、 健康卓球教室1件のみとなっ たが、スポーツを楽しめる地域交 流拠点の整備を実施したほか、 葵区自治会連合会の視察研修 において、先進事例の視察をお こなうなど、機運醸成に向けた 取組を実施したことは、一定の 評価ができる。	新規イベント開催に向け、自治 会連合会への周知等、当課から アプローチしていく。	・企業対抗ピンポン運動会 in わらびこの実施 1回 (20チーム82人)	3	申請ベースでの取組のため、ス ポーツイベントの開催支援は、 企業対抗ピンポン運動会inわ らびこの実施1件のみとなっ た。参加者のスポーツに親しむき っかけづくりとなり、スポーツ実 施率向上に寄与した。	新規イベント開催に向け、自治 会連合会への周知等、当課から アプローチしていく。	【実施目標】 地域の要請に応じて実施 (年2回実施) 【設定理由】 ・開催数は、事務事業の見直 しにより2回とした。 ・市民がスポーツに親しむ きっかけを得ることで、ス ポーツを継続的に実施し、健 康増進につながるため。	葵区役所 地域総務課	1-2-㉔
80	3-1-㉓	井川ならではの 自然環境を活かした 主催事業	井川ならではの自然環境を活かしたキャンプやハ イキング、トレイルランニング、スキー教室などを 開催し、四季を通じて参加者がスポーツに慣れ親 しむ機会を提供する。	応募率100% 年間7回以上実施	・応募率 178%(参加者517名) ・年間8回計画 8回実施 トム・ソーヤ チャレンジキャンプ トム・ソーヤ オータムキャンプ トム・ソーヤ スキーキャンプ トム・ソーヤ ウィンターキャンプ 井川de紅葉狩り 井川deスキー＆雪遊びⅠ 井川deスキー＆雪遊びⅡ 井川deトレラン＆夏体験	5	トム・ソーヤ事業を中心に応募 が多数集まり、天候や交通状況 による主催事業の中止もな かったため、目標値を上回っ た。	—	令和7年度から事業縮小に伴 い、トム・ソーヤ事業、井川de事 業廃止	1	事業廃止	令和8年度から、社会共有資産 利活用推進課に所管を替え、施 設の利活用を検討していく。	令和8年度以降廃止	環境共生課 (R8年度:社会共有資産利活用 推進課)	
81	3-1-㉓	南アルプスコエコパー ク井川自然の家 トレイルランニングコースの活 用推進	井川自然の家の利用促進と井川の地域振興に寄 与するため、井川出身の山岳アスリート・望月将悟 氏監修によるトレイルランニングコースの活用を 推進する。	コースを活用した主催事 業の実施及びコースの一 般開放	・主催事業「井川deトレラン＆夏 体験」の実施 応募率310%(参 加者62名) ・4月～11月のトレイルランニング コース開放(4・8km) ・5月～10月のトレイルランニング コース開放(12・30km)	5	・トレイルランニングコースを活 用した主催事業を日帰り開催 にしたことで、応募が多数集 まった。 ・整備を定期的に行ったこと で、冬季期間以外はコースの一 般開放ができた。	—	令和7年度から事業縮小に伴 いトレイルランニングコース閉 鎖	1	コース閉鎖	令和8年度から、社会共有資産 利活用推進課に所管を替え、施 設の利活用を検討していく。	令和8年度以降廃止	環境共生課 (R8年度:社会共有資産利活用 推進課)	
82	3-1-㉓	和田島の自然環境を 活かした主催事業	夏の和田島ならではの自然環境を活かした沢登 り、ハイキングなどに慣れ親しむ機会を提供する。	応募率100% 年間1回以上実施	(廃止理由) 和田島自然の家の閉鎖及び教 育総務課管轄からの除外によ り、和田島での主催事業を廃止 したため。									教育総務課 (南アルプスコエコパーク 井川自然の家)	
83	3-1-㉓	オクシズスポーツ ツーリズム促進事業	オクシズの地形や地域資源を活用したスポーツイ ベントなどの開催を支援することにより、広く市 内外に向けて中山間地域の魅力を発信し、地域の 活性化を図る。	参加者数(交流人口) 650人/年	両河内ロゲイニング74人 両河内バイオロゲイニング25人 水見色トレラン29人 井川マウンテンマラソン185人 大会参加者 計 313人	3	参加人数を増やすため、スポー ツや中山間地を志向する層に 効果的に周知できるよう、チラ シの設置場所や広報媒体を増 やす。	両河内ロゲイニング 132人 バイオロゲイニング 128人 水見色トレラン 24人 井川マウンテンマラソン 195 人 計 479人	4	数年間継続してイベントを実施 したことや、効果的に広告を掲 載したことで、両河内地区での イベントの参加者数が増加し た。他地域のイベント参加者数 については、概ね例年のとおり であった。	事業見直しのため、令和7年度 をもって当補助金事業を終了 する。今年度以降は、地域振興 を目的とした事業として別の補 助金による支援を検討してい る。	—	中山間地振興課		

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
施策の柱:2 ホームタウン活動の推進
基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全22件)	0	0	0	5	17

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
84	3-2-①	大学野球オースタム フレッシュリーグin静岡	市民野球熱の醸成に向け、東京六大学野球等国内トップレベルのプレーを市民が間近で観ることができ、また地元大学・高校の野球部との交流試合や、子どもたちの野球教室の開催等を行う大会の開催を支援する。	年1回開催	・開催日11/15～17(3日間) ・参加(大学12校、高校5校) ・来場者数 草薙球場:2214人 ちゅーるスタ:1271人 西ヶ谷球場:551人	5	来場者数が昨年度より若干減少したが、例年取り組んでいる野球教室等の地域活性化活動に加え、球場内外での魅力的なイベント等を企画・実施しており、年々、魅力的な大会が実施できている。	大会が自走していけるよう実行委員会に「安定した運営に必要な収入の確保」を働きかけていく。	・開催日11/22～24(3日間) ・参加(大学16校、高校6校) ・来場者数 草薙球場:1683人 ちゅーるスタ:1271人 西ヶ谷球場:719人	5	大会運営を担う企画チームの学生達が、野球教室等の地域活性化活動に加え、球場内外での魅力的なイベント等を企画・実施しており、魅力的な大会が実施できている。	・大会が自走していけるよう実行委員会に「安定した運営に必要な収入の確保」を働きかけていく。 ・近年、観客数が減少しているため、大会告知を幅広く実施する必要がある。	【実施目標】 年1回実施 【設定理由】 首都圏等の大学野球部による質の高い試合を身近で観戦できる機会が創出され、市民のスポーツへの興味・関心の向上につなげるため。	スポーツ振興課	3-1-②
85	3-2-①	プロ野球地元球団創設構想の 推進	将来的なプロ野球地元球団の創設に向け、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の開催支援等を行う。	プロ野球公式戦・オープン 戦開催支援1回以上	令和7年3月8日～12日にプロ 野球楽天イーグルスのオープン 戦全4試合の広報紙への掲載 や、市所管施設へのポスター 等の配布を行った。	5	開催期間中土日の試合で、小学生招待企画や選手ふれあいイベントも実施し、地域の子もたちに野球に興味を持ってもらうような取組も行うことができた。	市民野球熱の醸成に向け、新たに創設されたプロ野球球団「くふうハヤテベンチャーズ静岡」をはじめ、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の広報支援等を継続していく。	令和7年7月15日にプロ野球 公式戦ヤクルトvs巨人、令和8 年3月4日～12日にプロ野球 楽天イーグルスのオープン戦全 6試合の広報紙への掲載や、市 所管施設へのポスター等の配 布を行った。	5	市広報紙での告知協力により多くの市民にプロ野球の開催情報を発信することで、市民がスポーツを「みる」機会につながった。	市民にプロ野球の魅力や楽しさを伝え、野球を通じたスポーツの普及・振興を図るため、市内で開催されるプロ野球公式戦・オープン戦の広報支援等を継続していく。	【実施目標】 プロ野球公式戦・オープン戦 開催支援1回以上 【設定理由】 市民がトップレベルのスポーツを身近に観戦できる機会を創出し、スポーツへの関心向上や青少年の競技意欲の醸成につなげる。	スポーツ振興課	3-1-②
86	3-2-①	清水日本平運動公園球技場 ネーミングライツパートナー企 業による地域貢献活動	清水日本平運動公園球技場のネーミングライツパートナー企業が、当該契約に基づく球技場無償 使用权を利用した地域貢献活動(児童を対象としたサッカー大会の開催支援等)を実施する。	年3回実施	年3回実施	5	第38回 全国少年少女草サッカー大会 大会、第10回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会、IAIカップ静岡県チャイルドサッカー大会in日本平の3回実施したことで目標を達成することができた。	熱中症対策等による大会開催時期の変更に注意しながら、各大会主催者とネーミングライツパートナー企業との使用に関する調整を継続して行っていく。	年3回実施	5	第39回 全国少年少女草サッカー大会 大会、第11回静岡障がい者サッカーフェスティバル大会、IAIカップ静岡県チャイルドサッカー大会in日本平の3回実施し、児童にスポーツをする機会を提供できた。	各大会主催者とネーミングライツパートナー企業との使用に関する調整を継続して行っていく。	【実施目標】 年3回実施 【設定理由】 児童にスポーツをする機会を提供できるため。	スポーツ振興課	1-1-①
87	3-2-①	清水日本平運動公園球技場交 通問題等対策協議会の開催	エスパルスの安定的な活動を下支えるため、エスパルスホームゲーム開催時のIAIスタジアム日本平周辺の交通問題について、関係者が議論する協議会を開催する。	年1回開催	年1回開催 令和7年1月30日(木)	5	地元自治会の方々と、課題について協議できたことは評価できる。	同協議会の場だけでなく日ごろから周辺住民の声を聴き、スタジアム周辺の交通問題の解消に取り組んでいく。	年1回開催 令和8年1月23日(金)	5	地元自治会の方々と交通対策について協議し、交通問題解消に寄与できた。	同協議会の場だけでなく日ごろから周辺住民の声を聴き、スタジアム周辺の交通問題の解消に取り組んでいく。	【実施目標】 年1回開催 【設定理由】 エスパルスホームゲーム開催時のIAIスタジアム日本平周辺の交通問題について、関係者が議論する協議会を開催することで、交通対策解消に寄与することができる。	スポーツ振興課	2-1-①
88	3-2-①	静岡市サッカー祭り	サッカーの魅力発信や、「まちは劇場」の推進に向け、静岡市サッカー協会とともに、フリースタイルフットボールコンテスト等を行うイベントを開催する。	年1回開催	年1回開催 令和7年1月11日(土) 清水マリナパークで開催	5	2025シーズン必勝祈願開催支援事業との同時開催により多くの来場者を迎えることができた。	市サッカー協会に協力し、サッカーの普及・PRを通じてサッカーのまちづくりを推進していく。	年1回開催 令和7年10月4日(土) JR東静岡駅 グランシップ 芝生広場	5	幅広い年齢層に、多様なスタイルのサッカーを通じて、スポーツの楽しさや体の動かし方を学ぶ機会を提供することができた。	市サッカー協会に協力し、サッカーの普及・PRを通じてサッカーのまちづくりを推進していく。	【実施目標】 年1回開催 【設定理由】 多様なスタイルのサッカーを通じ、スポーツの魅力や身体を動かすことの楽しさを伝える機会となるため。	スポーツ振興課	2-1-②
89	3-2-①	JFAこころのプロジェクト「夢 の教室」	日本サッカー協会と連携し、サッカーをはじめとした様々な競技のトップアスリートを講師として、市内の小学生に対し、夢に向かって努力することの大切さを伝える特別授業を実施する。	年6クラス以上実施	市内小学校6校で実施 延べ参加人数190人	5	市内6校の生徒に、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを子どもたちに伝えることができた。	R7年度からは市内の子もたちにより身近なホームタウンチームの選手・スタッフ等を講師に迎え、同様の授業を行っていく。	(廃止理由) R7年度からは、これまでのJFAとの取り組みを参考に、市内の子もたちにより身近なホームタウンチームの選手・スタッフ等を講師に迎え、同様の授業を行うため。				令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	
90	3-2-①	サッカー日本代表 応援事業	「サッカーのまち」と称される本市において、国内サッカーの最高峰である日本代表チームを積極的に応援する各種事業を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し実施する。	【ワールドカップ等大規模 大会開催年】 年1回以上開催	2024 年パリオリンピック競 技大会の日本代表応援写真展 ①7月17 日(水)～8月7 日(水) U-23男子日本代表、なでしこ ジャパン 9月2日(月)～9月11日(水) ブラインドサッカー ②清水ナショナルトレーニング センター 9月12日(木)～12月2日(月)	5	大会開催期間に合わせ、静岡庁舎及び清水ナショナルトレーニングセンターの2か所で実施できた。	効果的な時期に事業実施できるよう、大規模大会開催時に使用する、応援パネルの作成にあたり、日本サッカー協会と連携しデータの取得等を行っていく。	ワールドカップ等大規模大会開催年ではないため事業実施していない。				【実施目標】 ワールドカップ等大規模大会 開催年 年1回以上開催 【設定目標】 ワールドカップ開催年は、日本代表への関心が高まる絶好の機会であることから、「サッカーのまち」を標榜する本市として、関係団体と連携した応援事業を実施し、市民のサッカーへの関心・愛着の醸成及び地域の一体感の創出を図るため、開催年ごとに1回以上の実施を目標として設定する。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通した人々の交流による地域の活性化
施策の柱:2 ホームタウン活動の推進
基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全22件)	0	0	0	5	17

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
91	3-2-②	ホームタウンチームと 連携したスポーツ教室	子どもの健全育成や、各チームの応援機運醸成に向け、各チームの選手・コーチによるサッカー、バスケットボール等の技術指導や交流事業を行うスポーツ教室を、フォッサ・サッカーのまち市民協議会等と連携し開催する。	年2回以上開催	年1回開催 令和6年6月23日(日) 静岡市中央体育館	3	目標の年2回の開催は達成できなかったが、ホームタウンチーム計7チームと連携し参加者が3種目を体験することができ、子どもたちがホームタウンチームとの関わりを持つことができた。	年2回の実施に向け、ホームタウンチーム全8チームの講師派遣が可能な開催時期等の考慮が必要なため、早期に開催時期の調整を行う。	年2回開催 令和7年5月25日(日) 静岡市中央体育館 令和7年6月22日(日) 清水総合運動場 体育館	5	ホームタウンチーム全8チームと連携し参加者が3種目を体験することができ、子どもたちがホームタウンチームとの関わりを持つことができた。	実施に向け、ホームタウンチーム全8チームの講師派遣が可能な開催時期等の考慮が必要のため、早期に開催時期の調整を行う。	【実施目標】 年2回以上開催 【設定理由】 ホームタウンチームと連携したスポーツ体験教室を実施することで、子どもたちがホームタウンチームへの関心を高めるとともに、スポーツの親しむ機会を提供できるため。	スポーツ振興課	1-1-①
92	3-2-②	巡回スポーツ教室	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園等の園児に対して、エスパルススクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った簡単な運動等を通して、身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えるスポーツ教室の開催を支援する。	年120園以上開催 延べ参加者数 3,000人以上	126 園(市内の公・私保育園及び公・私幼稚園) (葵区48 園・駿河区36 園・清水区42 園) 参加者:3,280 人(園児)	4	目標の年120園以上開催 延べ参加者数 3,000人以上を達成した。	多数の開催が見込まれるため、引き続き申込開始を可能な限り早期に行い、実施期間にゆとりを持たせられるよう調整していく。	121 園(市内の公・私保育園及び公・私幼稚園) (葵区43 園・駿河区32 園・清水区44 園) 参加者:2,880 人(園児)	4	延べ参加者数は目標に達しなかったものの、実施園については達成し、多くの園児に身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えることができた。	多くの児童に様々な運動の楽しさを伝えるため、他のホームタウンチームも実施していく必要がある。	【実施目標】 年80園以上開催。延べ参加者数 2,000人以上 【設定理由】 巡回スポーツ教室を実施することで、多くの園児に身体を動かすことの楽しさや大切さを伝えることができる。	スポーツ振興課	1-1-①
93	3-2-②	エスパルス アウェイゲーム パブリックビューイング	エスパルス観戦機会の創出や、「まちは劇場」の推進に向け、清水駅前や東静岡駅前等の広場で、エスパルスアウェイゲームのパブリックビューイングを開催する。	年1回開催 参加者数 1,000人以上	年1回開催 令和6年10月27日(日) 清水マリナターミナル 来場者数1,300人	5	実施目標である1,000人以上を達成した。	施設周辺の他イベントの開催状況によっては、近隣駐車場の混雑が予想されるため、入場開始時間を検討する必要がある。	年1回開催 令和7年10月18日(日) 清水マリナターミナル 来場者数1,053人	5	実施目標である1,000人以上を達成し、エスパルスの応援気運醸成に寄与した。	IAIスタジアム日本平の大型ビジョンを更新したことで、施設を活用したパブリックビューイングの開催が可能となったことから、施設管理者やクラブによる開催に移行していく。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	2-1-②
94	3-2-②	指導者講習会	エスパルスをきっかけとした子どもの健全育成に向け、こども園の保育士等に対して、エスパルスクールコーチが講師となり、サッカーボールを使った運動方法等を教授する講習会の開催を支援する。	年1回以上開催 参加者数 10人以上	年1回開催 11月22日 延べ参加人数 6人	3	実施目標の参加者数10人以上は達成できなかったが、こども園の保育士等に対しての講演会については、年1回以上開催を達成した。	こども園の保育士等の出席しやすい日程で行えるように、エスパルスと検討を行っていく。	令和7年9月10日(火) 参加人数:50人	5	実施目標人を大きく上回り、多くのこども園の保育士等に対して、サッカーボールを使った運動方法等を教授することができた。	こども園の保育士等の出席しやすい日程で行えるように、エスパルスと検討を行っていく。	【実施目標】 年1回以上開催 参加者数 10人以上 【設定理由】 講習会を開催することで、こども園の保育士等に対して、運動方法等を教授することができ、多くの子どもに運動の楽しさを伝えることにつながる。	スポーツ振興課	2-2-①
95	3-2-②	エスパルス 地域交流応援事業	市民のエスパルス応援機運の醸成や、地域コミュニティの向上等に向け、エスパルスホームゲーム観戦企画の実施を支援する。	延べ2,100人以上来場	5/11 vs 鹿児島 5/26 vs 水戸 6/30 vs 岡山 計 1,526人参加	3	申込件数2,100人は超えていたが、来場数が1,526人に減少した。	申込件数と来場者数に差が生まれないよう協議していく。	5/11vs町田 入場者:649人 申込1,329件 6/15vs大阪 入場者:478人 申込847件 6/28vs柏 入場者:686人 申込927件 入場者 計1,813人 申込 計3,103件	4	実施目標には達しなかったが、市民のエスパルス応援機運の醸成や、地域コミュニティの向上等に寄与できた。	エスパルス交流事業補助金の廃止に伴い、当事業はエスパルスが独自で行い、市の関与は令和7年度で終了した。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	3-2-①
96	3-2-②	エスパルス 教育サポート事業 「エスプラス」	エスパルスや静岡大学・市内企業と協働した静岡版の魅力ある授業づくりを推進し、子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、エスパルスや地域への愛着醸成を図るための特別授業を実施する。	年10校以上開催 延べ参加者数 500人以上	年10校で実施。 延べ参加者数 1,020人	5	目標の年10校以上開催及び延べ参加者数500人以上を達成した。	エスパルス、市内企業と連携し、更なる内容の充実を図れるように協議していく。	年10校で実施。 延べ参加者数 701人	5	実施目標を達成し、子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、エスパルスや地域への愛着醸成を図ることができた。	エスパルス、市内企業と連携し、更なる内容の充実を図れるように協議していく。	【実施目標】 年10校以上開催 延べ参加者数 500人以上 【設定理由】 子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、エスパルスや地域への愛着醸成につながるため。	スポーツ振興課	3-2-①
97	3-2-②	エスパルス オリジナルベビースタイ配布 事業	エスパルスをきっかけとした子育て支援の推進に向け、市内で出生した赤ちゃんへのエスパルスオリジナルベビースタイの配布をする。	ベビースタイ配布 5,000枚以上	エスパルスオリジナルベビースタイを静岡市保健福祉センターと静岡助産師会及び清庵助産師会に5,200枚配布	5	目標の5,000枚以上配布できたことで、官民連携・地域ぐるみで子育てを支援することが図られた。	申込開始を早めることで、実施期間にゆとりを持たせられるようエスパルスとの調整を継続して行っていく。	エスパルスオリジナルベビースタイを静岡市保健福祉センターと静岡助産師会及び清庵助産師会に4,745枚配布	4	実施目標には達しなかったが、子育て家庭を地域全体で応援する機運を醸成するとともに、子どもの頃からホームタウンチームに親しみを持つ機会を創出し、地域への愛着や誇りの醸成、スポーツに親しむきっかけづくり及び子育てしやすいまちづくりの推進につながった。	申込開始を早めることで、実施期間にゆとりを持たせられるようエスパルスとの調整を継続して行っていく。	【実施目標】 ベビースタイ配布 4,500枚以上 【設定理由】 エスパルスオリジナルベビースタイ配布することで、エスパルスをきっかけとした子育て支援をすることができるため。	スポーツ振興課	3-2-①

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
施策の柱:2 ホームタウン活動の推進
基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全22件)	0	0	0	5	17

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
98	3-2-②	エスパルスを活用した 各種PR活動	庁内各課の施策・事業について、エスパルスホームゲームにおける大型電光掲示板での放映やブース出展等でPRを行う。また、エスパルス選手写真・ロゴ等を庁内各課の啓発ポスター・チラシ等に使用しPRを行う。	40件以上活動	活動実績 44件	5	目標としている活動件数を上回ったほか、エスパルスホームゲームへの来場者数も1試合あたり17,000人以上であったことから、PR効果が高かった。	出展したブースや放映する映像により多くの来場者に関心を持ってもらうため、効果的な内容を検討していく。	活動実績 41件	5	実施目標を達成し、多くの市民が庁内各課の施策・事業について知るきっかけとなった。	出展したブースや放映する映像により多くの来場者に関心を持ってもらうため、効果的な内容を検討していく。	【実施目標】 40件以上活動 【設定理由】 ホームタウンチームが各種PR活動をすることで、多くの市民が庁内各課の施策・事業について知ることができるため。	スポーツ振興課	3-2-①
99	3-2-②	フオッサ・サッカーのまち市民協議会活動支援	サッカーを活かしたまちづくりや、ホームタウンチームを組織的に支援する「フオッサ・サッカーのまち市民協議会」の活動を支援する。	PRイベント 年1回開催 啓発品 年1品目作成	PRイベント オレンジスポーツフィールド 1回開催(来場者4,500人) 啓発品 トートバック(400個)作成	5	PRイベントをエスパルスの出陣式と連携して同時開催したことで、多くの市民にホームタウンチームのPRができた。	ホームタウンチームが増えてきている状況の中、各チームとの更なる連携調整が必要となる。	PRイベント オレンジスポーツフィールド 1回開催(来場者6,700人) 啓発品 トートバック(1,000個)作成	4	PRイベントをエスパルスの出陣式と連携して同時開催したことで、多くの市民がホームタウンチームを身近に感じ、スポーツへの関心を高める機会となった。	ホームタウンチームが増えてきている状況の中、各チームとの更なる連携調整が必要となる。また、協議会休止のため令和8年度は実施しない。	令和8年度は実施しない	スポーツ振興課	3-2-①
100	3-2-②	エスパルス ホームゲームへの 市内小中学生招待事業	エスパルス観戦機会の創出や、子どもの健全育成に向け、市内の全小中学生を対象としたエスパルスホームゲームへの招待事業の実施を支援する。	延べ800人以上 来場	年4回実施 延べ来場者数 3,710人	5	目標の延べ800人以上を達成した。	多くの小中学生の参加できるようPR時期や周知方法をエスパルスと協議していく。	4/20vsアビスパ福岡 入場者:1,310人 申込1,496件 5/11vs町田ゼルビア 入場者:674人 申込843件 入場者 計1,984人 申込 計2,339件	5	市民のエスパルス応援機運の醸成や、地域コミュニティの向上等に寄与できた。	多くの小中学生の参加できるようPR時期や周知方法をエスパルスと協議していく。	令和8年度以降廃止	スポーツ振興課	
101	3-2-②	ホームタウンチーム選手・マスコット等の市事業・イベントへの派遣	エスパルスをきっかけとした賑わい創出やコミュニティ機能の向上、ホームタウンチームに触れる機会の創出に向け、市事業・イベントに、ホームタウンチームの選手やコーチ、マスコット、チアリーダー等を派遣する。	年25回以上派遣	・選手等派遣事業 8回 ・親子運動教室 12回	4	庁内各課等が行う幅広い分野の事業に選手等の派遣を行ったほか、子どもたちを対象とした普及活動によりホームタウンチームに触れる機会を創出した。	既存チームの派遣を引き続き取り組んでいくとともに、新しいチームについても同様の取り組みができるようチームとの協議を継続して行っていく。	・選手等派遣事業 17回 ・親子運動教室 12回	5	庁内各課等が行う幅広い分野の事業に選手等の派遣を行ったほか、子どもたちを対象とした普及活動により市民がホームタウンチームに触れる機会を提供できた。	既存事業への派遣に加え、新規の取組でもホームタウンチームを活用し、連携の幅を拡げていく。	【実施目標】 年25回以上派遣 【設定理由】 ホームタウンチームを活用した事業を継続的に実施し、市民が選手等と接する機会の充実を図るため。	スポーツ振興課	
102	3-2-②	ホームタウンチーム 活用推進事業	エスパルスをはじめとするホームタウンチームの発信力・求心力を活かし、市とクラブの提携によってスポーツの力で地域の課題解決等を推進する。	年1事業以上実施	市役所静岡庁舎1階に設置している既存のエスパルスホームタウンコーナーをリニューアルし、全チームのユニフォームや、活動動画を展示した。	5	本市の全ホームタウンチームの展示を行うことで、地域への各チームの認知度向上や、地域への愛着の醸成に繋がった。	展示が一定期間同じ内容にならないよう、定期的に内容の更新を行い、常に来場者の興味・関心を引くような展示が出来るような工夫が必要となる。	市役所静岡庁舎1階に設置しているホームタウンコーナーに、全チームのユニフォームや、活動動画、リーグ優勝写真等を展示した。	5	本市の全ホームタウンチームの展示を行うことで、地域への各チームの認知度向上や、地域への愛着の醸成に繋がった。	展示が一定期間同じ内容にならないよう、定期的に内容の更新を行い、常に来場者の興味・関心を引くような展示が出来るような工夫が必要となる。	【実施目標】 年1事業以上実施 【設定理由】 年間を通じて、ホームタウンチームの魅力を幅広い層の市民に発信し、ホームタウンチームの試合観戦やイベントに参加する機会を提供するため。	スポーツ振興課	
103	3-2-②	オレンジ化推進事業	まちなかの賑わい創出や、エスパルスに触れる機会の創出に向け、エスパルスやベルテックスのチームカラーであるオレンジ色のバナーやフラッグ、横断幕等を駅前や商店街、市庁舎等に掲出する。	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	5	駅前という市の玄関口にバナーを掲出しており、市内外の多くの市民にスポーツのまちをPRできている。	まちなかでのバナー等の掲出は非常に効果が高いことから引き続き実施していく。	駅前バナー掲出4件(静岡、東静岡、草薙、清水)	5	バナーやフラッグ、横断幕等を駅前や商店街、市庁舎等に掲出し、市内外の人々のPRや地域への愛着の醸成につながった。	他のホームタウンチームとの公平性を検討する必要がある。	【実施目標】 ホームタウンチームの希望に応じて掲出 【設定理由】 市民がホームタウンチームを身近に感じる機会を創出するため。	スポーツ振興課	
104	3-2-②	エスパルス ホームタウンコーナーの設置	エスパルスに関する情報を広く発信するため、各区役所に専用コーナーを設け、エスパルスの関連情報の掲出やグッズ等を展示する。	常設3ヶ所設置	葵・駿河・清水の各区役所にそれぞれ1か所設置した。 葵区のホームタウンコーナーをすべてのチームを対象としたホームタウンコーナーとしてリニューアルした。	5	各コーナーでは、試合結果だけでなく、各チームと地域・行政との連携事業等についても情報発信しており、市民のチームに対する愛着増進に寄与していると考えられる。	すべてのチームの情報をより多くの市民に関心を持って見てもらえるよう、リニューアルしたコーナーにおける情報発信の内容を検討していく。	葵・駿河・清水の各区役所にそれぞれ1か所設置。	5	ホームタウンコーナーを活用して情報発信しており、市民へのPRや地域への愛着の醸成につながった。	各ホームタウンチームごとの情報発信内容に偏りがあるため、各チームの情報を幅広く発信していく。	【実施目標】 各区役所にホームタウンチーム対象として設置 【設定理由】 ホームタウンコーナーを設置することで、市民がホームタウンチームを身近に感じ、ホームタウンチームの試合観戦やイベントに参加する機会を提供するため。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

基本方針:3 スポーツを通じた人々の交流による地域の活性化
施策の柱:2 ホームタウン活動の推進
基本施策:①サッカー・野球等のスポーツを活かしたまちづくりの推進 ②ホームタウンチームとの連携・協働の推進

施策3の柱2	達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらともいえない	概ね達成している	達成している
	取組事業数 (全22件)	0	0	0	5	17

※実施目標に対する達成度(基準)

達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標 (計画策定時(R5))	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
105	3-2-②	民間教育力活用事業へのホームタウンチームの協力	依頼のあった学校に民間教育力活用事業の登録講師である清水エスバルスやベルテックス静岡の選手・コーチ等を派遣して、学習の充実を図る。	学校の要請に応じて実施	令和6年9月10日、令和7年1月23日の2回、ベルテックス静岡へ民間教育力活用事業の登録講師の派遣を要請した。	5	学校の要請に応じて実施した。学校の要望する内容に沿い、講話を行い、学習の充実を図った。	より多くの学校が講師派遣を活用できるよう学校への周知を行う。	令和7年9月16日、令和7年12月1日の2回、ベルテックス静岡へ民間教育力活用事業の登録講師の派遣を要請した。	5	学校の要請に応じてベルテックスの選手を講師として招くことが出来た。プロスポーツ選手による講話を受け、スポーツへの関心や郷土愛を高めることが出来た。	より多くの学校が講師派遣を活用できるよう継続して学校への周知を行う。	【実施目標】年間2回以上 【設定理由】・近年の実績に基づいて年間2回以上とした。 ・児童生徒が、地元で活躍するプロスポーツ選手からの講話を通して、スポーツへの関心や愛郷心を高めることに繋がるため。	学校教育課	
106	3-2-②	プロスポーツチーム等連携プロジェクト	企業版ふるさと納税を活用し、本市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携し、スポーツが持つ力により、誰もが健康で心が満たされるまちづくりを推進する。	継続実施	・静岡ジェードへのスタートアップ支援として、Tリーグのホームゲーム開催に必要な備品購入に係る経費や、卓球を通じた地域活性化イベントの開催に係る経費に対し、補助金を交付した。 ・企業版ふるさと納税を獲得するための市外企業への渉外活動を各チームと連携して実施した。	5	事業を継続実施することで、各チームと連携して獲得した企業版ふるさと納税を財源に、スタートアップ支援やスポーツ施設の整備を加速させることができており、各チームの活用・支援を通じた社会全体の協働・共創によるまちづくりに寄与していることは評価できる。	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)は、現状、令和9年度までの制度であため、制度が終了した時にプロスポーツチーム等と連携したスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりにどのように取り組んでいくのかを検討する必要がある。	・静岡ジェードへのスタートアップ支援として、チーム活動に必要な備品購入に係る経費や、卓球を通じた地域活性化イベントの開催に係る経費に対し、補助金を交付した。 ・ハヤテベンチャーズ静岡へのスタートアップ支援として、ホームゲーム開催に係る会場使用料に対し、補助金を交付した。 ・企業版ふるさと納税を獲得するための市外企業への渉外活動を各チームと連携して実施した。	5	事業を継続実施することで、各チームと連携して獲得した企業版ふるさと納税を財源に、スタートアップ支援やスポーツ施設の整備を加速させることができており、各チームの活用・支援を通じた社会全体の協働・共創によるまちづくりに寄与していることは評価できる。	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)は、現状、令和9年度までの制度であるため、制度が終了した時にプロスポーツチーム等と連携したスポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりにどのように取り組んでいくのかを検討する必要がある。	【実施目標】継続実施 【設定理由】企業(民)の力を活用し、官民連携により地方創生を進めていくことで、市民がスポーツに触れる場や機会を創出・拡大するため。	スポーツ振興課	
R6 新規	3-3-②	プロ野球球団連携推進プロジェクト	スタートアップ段階にあるハヤテベンチャーズ静岡の本拠地化を推進すると共に、ホームゲームを活かした球場周辺の経済活性化や、ハヤテグループを活用した地域振興を図る。	年間平均集客1000人以上	年間平均観客数:866人 ちゅ〜るスタ最多観客数:2,355人 ホームタウン集客促進事業・球場施設整備・交通対策・地域連携事業(15件)の実施	4	目標とする平均観客数の数値を下回る結果となったが、集客促進や、施設整備、地域連携事業の実施することで、球団の認知度向上や応援機運醸成を図ることが出来た。	平均観客数を市が目標値として設定することについて、見直しが必要と考える。市として推進したい取組、課題解決に向けた取組の効果をより高めるために球団を活用した取組をPT内で検討していく	年間平均観客数:784人 ちゅ〜るスタ最多観客数:2,121人 地域連携事業(15件)の実施	4	目標とする平均観客数の数値を下回る結果となったが、集客促進や、施設整備、地域連携事業の実施することで、球団の認知度向上や応援機運醸成を図ることが出来た。	庵原地区のユニバーサルスポーツ聖地化推進にあたり、ハヤテとも連携した取組を実施していく。	【実施目標】年間平均集客1000人以上 【設定理由】市民がハヤテベンチャーズ静岡を身近に感じる機会を創出するため。	スポーツ振興課	

第2期静岡市スポーツ推進計画 取組事業

※実施目標に対する達成度(基準)					
達成度	達成していない	あまり達成していない	どちらとも言えない	概ね達成している	達成している
	1	2	3	4	5
目安	0%	10～20%	21～69%	70～99%	100%

NO	基本 施策	主な取組事業	事業概要	実施目標	令和6年度				令和7年度(実績)				令和8年度		
					進捗・実績	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	進捗・実績(見込み)	達成 度合い	実績に対する評価・分析	今後の課題及び 解決に向けた取組内容	実施目標 設定理由	担当課	関連
	1-2-②	静岡型スポーツ・イン・ライフ 推進パートナー認定の実施	社員等が行うスポーツ活動への支援や推進に取り 組む企業・団体を認定、表彰する。	認定企業:30社/年					主に働く世代の運動・スポーツ 習慣の定着に向け、「静岡型ス ポーツ・イン・ライフ推進パート ナー認定制度」を創設し、22社 を認定した。	4	認定企業数は目標に達しな かったものの、制度創設初年度 として22社の参画を得ること ができた。また、認定を契機と して企業との新たなネットワー クが形成されるなど、市内企業 における運動・スポーツを通じ た健康経営や地域貢献に対す る機運醸成につながった。	制度の認知度向上と認定企業 数の拡大が課題であるため、認 定企業の取組事例の発信や企 業訪問等を通じて制度の周知 を強化する。	【実施目標】 認定企業:計50社 【設定理由】 企業・団体におけるスポーツ活 動への支援や促進に向けた取 組を広く普及するとともに、認 定企業・団体の取組を市内へ発 信することで、働く世代のス ポーツ実施機会の拡大や運動 習慣の定着を図るため。	スポーツ振興課	